

NVR

ユーザーマニュアル

MARSホームNVRコンボキット

MH-4140

デフォルトのユーザー名:admin
デフォルトのパスワード:123456



本書について

本書の内容は情報を目的とし、予告なく変更することがあります。弊社は、本書が正確で完全なものであることを保証するあらゆる努力を行っています。しかし、いかなる誤記および脱落が生じた場合も一切の責任を負いません。

FCC適合性の表示

本機は試験を行い、FCC規則パート15に従って、クラスBデジタルデバイスの制限に適合することが認められました。この制限は、住宅への設置における有害な妨害に対する合理的な保護を行うよう考案されています。本機は、無線周波数エネルギーを生成し、使用し、放射します。使用説明に従わずに設置し、使用した場合は、無線通信に有害な妨害が発生する恐れがあります。ただし、特定の設置においては妨害が発生しないという保証はありません。本機がラジオまたはテレビの受信に有害な妨害を引き起こす場合、それは本機の電源をOFF / ONにすることで判断できますが、次の対策の1つ以上を行うことで妨害の修正を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- 製品と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続しているのと回路が異なるコンセントに製品を接続する。
- 販売店または経験を積んだラジオまたはテレビ技術者に相談し、支援を求める。

適合宣言

本機は、FCC規則パート15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従っています。

- 1.本機は有害な妨害を起こすことができない。
- 2.本機は、望まない動作を起こす可能性がある妨害を含むいかなる妨害の受信も受け入れなければならない。

著作権

賠償責任の制限

- 本書は、商品性、あらゆる特定目的への適合性、または第三者の権利の抵触がないことに関する黙示の保証を含むがこれに制限されない明示または黙示のあらゆる種類の保証なしに「そのまま」提供されます。
- 本書には、技術的な誤りまたは誤記がある可能性があります。出版物の改善または関連デバイスの改善のため、本書の情報に対してはいつでも変更が行われることがあります。

保証の否認

いかなる場合も、サプライヤは、次を含むがこれに限定されない場合に、製品の交換または合理的なメンテナンスを除き、いかなる当事者またはいかなる人に対しても責任を負わないものとします。

- すべての損害または損失。直接的または間接的なもの、特別なもの、派生的または警告的なもの、およびデバイスが原因となるまたは関連するものが含まれるがこれに限定されない。
- 不適切な使用またはユーザーの操作の怠慢により引き起こされた個人の怪我またはなんらかの損傷。
- ユーザーによる権限のないデバイスの解体、修理、または変更。
- システムとサードパーティ製デバイスを組み合わせることから発生するすべての問題、結果的不都合、または損失もしくは損傷。
- 被写体となるすべての人または組織からもたらされる損傷に対するすべての請求または訴えが、何らかの理由で保存したデータを含む監視カメラの写真がプライバシー違反の結果となることにより、公開されるかまたは監視以外の目的で使用される。

安全性情報



警告

これはなんらかの特別な注意を要する危険の可能性、リスク、または状態を示すマークです。ユーザーは、重要な保守運用または修理の指示を参照する必要があります。



注意

正三角形の中に矢印付きの稲妻があるマークは、ユーザーへの警報を意図するものです。製品のエンクロージャー近くに、人に対するリスクになり得る危険な「電圧の」存在があります。

安全上の注意

- **充電部に触らないこと。**
感電を防ぐことができます。次に挙げる推奨法に従ってください。設置障害、不適切な接地、不正な電気機器の保守運用は、常に損傷の元となります。
- **風雨が強い時に屋外で機器を設置しないこと。**
- **雨の時は屋外で機器の設置または取り外しをしないこと。**
- **雷雨の時はいかなる機器も設置または操作しないこと。**
- **常にすべての電気機器と作業足場を接地すること。**
偶発的な感電を避けてください。電源、制御キャビネット、および作業足場を認可された電氣的アースに接続してください。
- **必ず正しいケーブルサイズを使用すること。**
過負荷の持続により、ケーブル障害が発生し、結果として感電または火災の原因となる可能性があります。作業ケーブルは、工場と同じ定格である必要があります。
- **ケーブルとコネクタは常に良好な状態に維持すること。**
不適切または破損した電気接続によりショートが発生し、感電の危険性が増加します。磨耗、損傷、または裸のケーブルを使用しないでください。
- **必ず開路電圧を避けること。**
電圧の追加により、感電の危険性の重大度が増加します。
- **機器を調整する間は必ず絶縁手袋を装着すること。**
電撃保護を保証するため、いかなる機器の調整を行う場合も電源をOFFにし、絶縁手袋を装着する必要があります。
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長袖のシャツなどの防護服を着ること。**
- **必ず高くびったり合う靴を履くこと。**
- **必ず潤滑油または油が付いていない清潔な衣服を着ること。**
- **周囲の作業者が円周放射にさらされないよう保護すること。**
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長ズボンやジーンズを着ること。**
- **作業前に、必ず安全ヘルメットまたは安全帽および安全靴を装着すること。**
- **機器は常に乾燥した場所に保管すること。**
- **高所作業時は必ず安全ハーネスまたはベルトを装着すること。**
- **常に乾いた衣服を着て、湿気と水を避けること。**
- **夜間作業時は必ず公衆安全ベストを装着すること。**
- **すべての電気接続は、必ずしっかりと、清潔で、乾いた状態にすること。**
- **静電荷を除去するため、必ず十分に絶縁すること。**
- **常に乾いた手袋、ゴム底の靴、または乾いた板もしくは台に立つこと。**
- **必ず広く認められた安全基準に従うこと。**
- **必ず適切な目、耳、および体の保護具を装着すること。**
- **暗所、換気の弱い場所、または高所で作業する間は、必ず現場に2番目の人がいるようにすること。**
- **必ずアーク閃光、機械的損傷、またはその他の災難に対して十分に保護すること。**
- **機器を設置する前に、線の極性が正しいことを確認すること。**
- **機器は必ず注意して取り扱うこと。**
- **機器の換気を遮らないこと。**
- **機器の周辺に磁気パーツを置かないこと。**
- **機器の上に物を置かないこと。**

目次

本書について.....	2
FCC適合性の表示.....	2
著作権.....	2
安全性情報.....	3

クイック設定ガイド..... 6

ステップ1: NVRを開梱します.....	6
MARSホームNVR.....	6
ステップ2: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール.....	7
ステップ3: 接続する.....	8
前面パネル.....	8
背面パネル.....	9
図に示すように接続を行います.....	9
ステップ4: NVRをスタンドに取り付ける (オプション).....	12
ステップ5: NVRの電源ON.....	12
ステップ6: スタートアップウィザードの項目を設定する.....	13
ステップ7: カメラが機能していることを確認する.....	16
ステップ8: カメラの取り付け.....	17

ライブ映像表示画面を理解する..... 18

ライブ映像表示画面上のポップアップメニュー.....	20
----------------------------	----

基本NVR操作..... 24

付属USBマウスの使用.....	24
仮想キーボード.....	24
画面のロック.....	24
付属のリモコンの使用.....	25
NVRの再起動/シャットダウン.....	26

アクセシビリティ機能..... 27

NVRをネットワークに接続する方法.....	27
KView Center.....	27
KViewQRアプリ.....	28
クラウドストレージの使用.....	32
Dropbox.....	32
Dropboxアカウントの作成方法.....	32
Dropboxに対するクラウドストレージ設定を行う方法.....	33
詳細メール設定.....	35
クラウドを有効にします.....	35
Googleドライブ.....	38
Googleアカウントの作成方法.....	38
Googleドライブに対するクラウドストレージ設定を行う方法.....	38
Googleドライブ上の写真/ビデオを確認する.....	40

NVRの操作..... 41

メインメニュー.....	41
ディスプレイ: カメラ.....	42
ディスプレイ: カメラ設定.....	43

Display: Output (ディスプレイ:出力)	44
Display: Privacy Zone (ディスプレイ:プライバシーゾーン)	45
Record: REC Para (録画:録画パラメーター)	46
Record: Schedule (録画:スケジュール)	46
Search: Record Search (検索:録画検索)	47
再生画面	48
ビデオのバックアップ	49
ビデオのトリミング	50
Search: Event Search (検索:イベント検索)	51
Search: Log Search (検索:ログ検索)	51
Network: Network (ネットワーク:ネットワーク)	53
Network: MainStream (ネットワーク:メインストリーム)	55
Network: SubStream (ネットワーク:サブストリーム)	55
Network: Email (ネットワーク:メール)	56
Network: DDNS (ネットワーク:DDNS)	57
Network: Switch (ネットワーク:スイッチ) (MARSホームNVRではサポートされません) ...	60
Alarm: Motion (アラーム:モーション)	60
モーション感知について	60
モーション検出エリアの設定	61
Device: HDD (デバイス:HDD)	62
Device: Cloud Storage (デバイス:クラウドストレージ)	63
Googleドライブ	63
Dropbox	65
System: General (システム:全般)	67
System: DST (システム:DST)	68
System: NTP (システム:NTP)	68
System: Users (システム:ユーザー)	69
System: Info (システム:情報)	71
System: Channel Info (システム:チャンネル情報)	72
Advanced: Maintain (詳細:維持)	72
Webクライアントを経由するリモートアクセス	75
Logging In (ログイン)	75
インターフェイス概要	76
ライブ映像表示	76
チャンネルを表示または非表示にする	77
チャンネルの手動録画	77
スナップショットを撮る	77
PTZコントロールの使用 (MARSホームNVRではサポートされません)	78
メインメニューについて	79
ローカル設定	79
ログオフ	79
付録	80
トラブルシューティング	80
仕様	82

クイック設定ガイド

MARS ホームシリーズネットワークビデオレコーダー (NVR) をお買い上げ頂きありがとうございます。この NVR は、KGuard Security によって開発され、高パフォーマンス、および究極の信頼性を提供するための高度な H.264 ビデオ符号化および復号化技術を含んでいます。

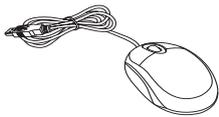
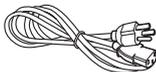
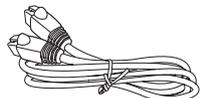
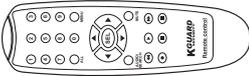
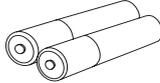
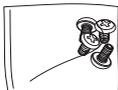
この NVR は、4 チャンネルを監視または録画することができます。各チャンネルに独立して録画モードを定義したり、または、カメラの一部またはすべてに構成済設定を適用したりすることができます。

アクセシビリティオプションに関して、NVR を使って、スマートフォン / タブレットまたは PC を経由してカメラからのライブ映像を見ることができます。簡単なアクセスおよびバックアップ目的のために、クラウドストレージ (Dropbox または Google ドライブ) に直接デバイスから写真またはビデオを送信するように NVR を設定することができます。また、アラーム状況が発生した場合、お使いのスマートフォン / タブレットに直接プッシュ通知を送信するように NVR を設定することができます。

ステップ 1: NVR を開梱します

必要なすべてのアイテムがパッケージに含まれているかどうかをチェックするために時間を割いてください。いずれかがないかまたは破損している場合は直ちに小売店にお問い合わせください。

MARS ホーム NVR

<ul style="list-style-type: none"> NVR 	<ul style="list-style-type: none"> スタンド 	<ul style="list-style-type: none"> IPカメラ 	<ul style="list-style-type: none"> マウス 
<ul style="list-style-type: none"> 15V/4A電源アダプター 	<ul style="list-style-type: none"> 電源コード 	<ul style="list-style-type: none"> HDMIケーブル 	<ul style="list-style-type: none"> イーサネットケーブル 
<ul style="list-style-type: none"> PoCケーブル 	<ul style="list-style-type: none"> リモートコントロール 	<ul style="list-style-type: none"> 電池* 	<ul style="list-style-type: none"> 2.5インチ/3.5インチ HDDねじ 
<ul style="list-style-type: none"> カメラねじキット 			

注意: * すべての国で入手可能ではありません。

ステップ 2: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール

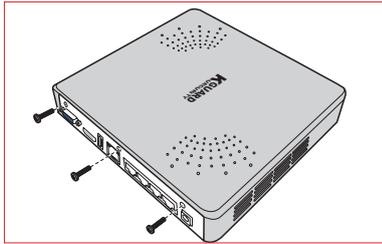
NVR 上に HDD をインストールする必要がある理由は、セキュリティカメラからのビデオ映像を保存できるようにするためです。この NVR は、最大 4TB までの 3.5 インチまたは 2.5 インチ SATA HDD をサポートしています。3.5 インチと 2.5 インチのインストール手順は若干異なります。

注意: デバイスの電源が ON の間は HDD のインストールまたは取り外しをしないでください。

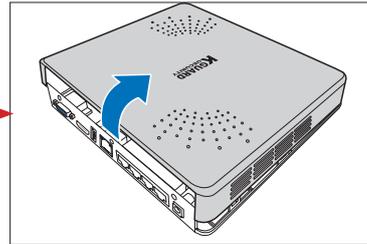
HDD をインストールするには、次の手順に従います。

1. カバーを取り外す

図に示すようにネジを緩めます。

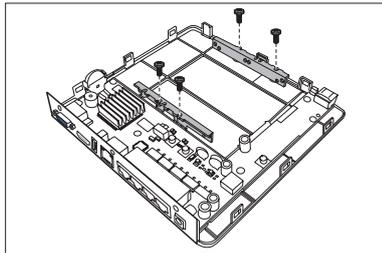


慎重にカバーを取り外します。



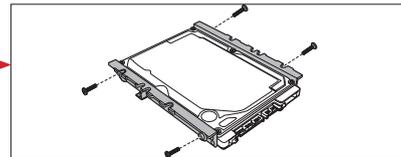
2. HDD ブラケットの取り付け

HDD ブラケットからネジを取り外します。次にブラケットを取り外します (HDD ブラケットは一部の国ではパッケージ内に別々に梱包されています)。

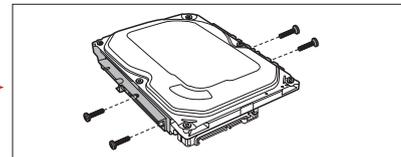


付属の 2.5 インチ/3.5 インチ HDD ネジを使って、HDD ブラケットを HDD に取り付けます。

2.5 インチ HDD

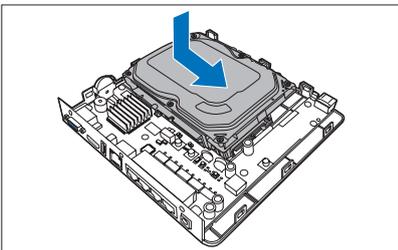


3.5 インチ HDD



3. HDD の接続

NVR に HDD モジュールをインストールし、スライドさせてメインボード上の SATA コネクタに接続します。

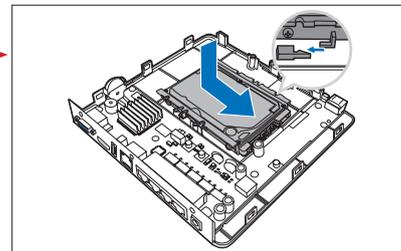


4. HDD の固定

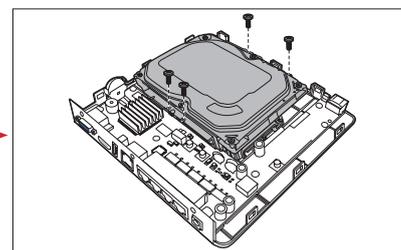
-2.5 インチ HDD: NVR ケース上のフックに HDD モジュールをスナップインします。

-3.5 インチ HDD: HDD モジュールを NVR にねじを使って固定します。

2.5 インチ HDD



3.5 インチ HDD



続く...

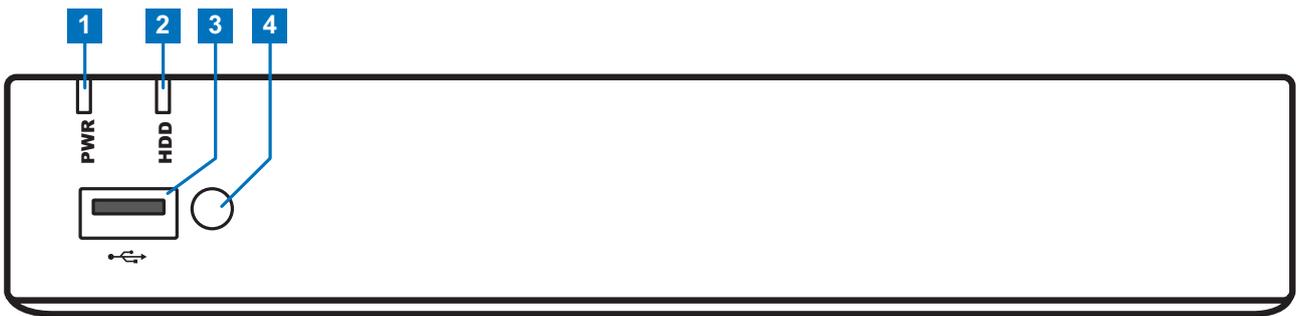
続く...

5.カバーの再配置

カバーを取り付け、ねじで固定します。

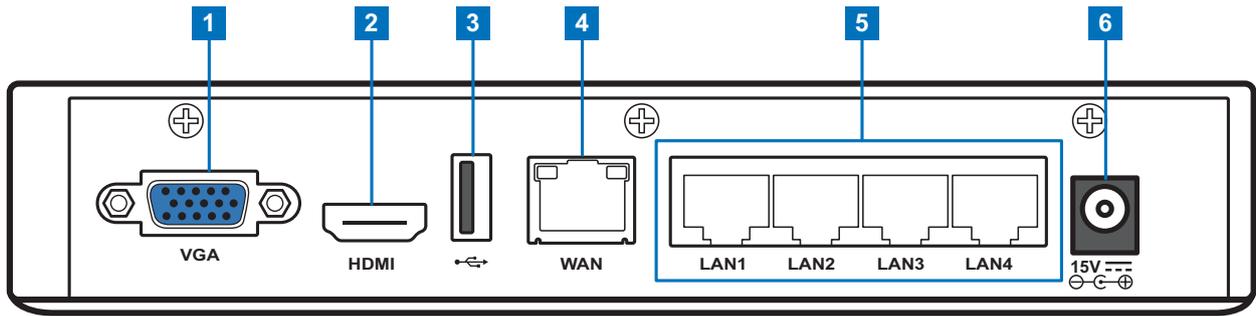
**ステップ 3: 接続する**

接続するために、接続ポートおよび制御 LED の意味を理解する必要があります。前面パネルまたは背面パネルを確認するための時間を割いてください。

前面パネル

- 1) 電源インジケータ: 赤に点灯して電源が ON であることを示します。
- 2) HDD インジケータ: HDD にアクセスしているとき (書き込み / 読み出し操作)、緑色に点滅します。
- 3) USB 2.0 ポート: USB マウス、フラッシュディスク、およびその他の外部ストレージドライブに接続します。
- 4) IR センサー: リモコンからの赤外線信号を受信します。

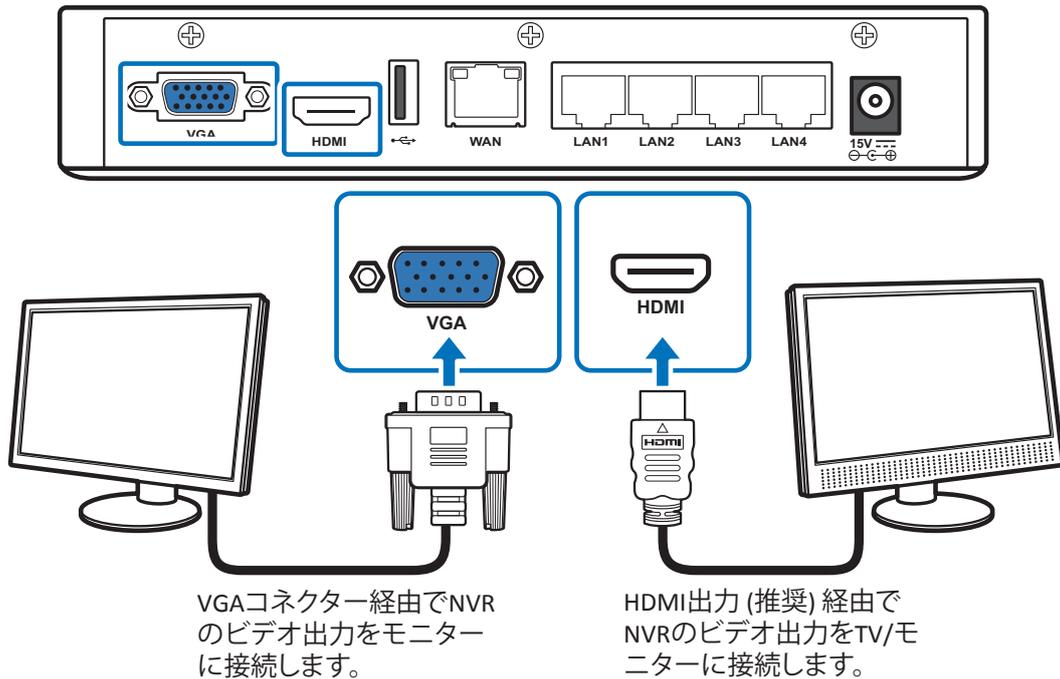
背面パネル



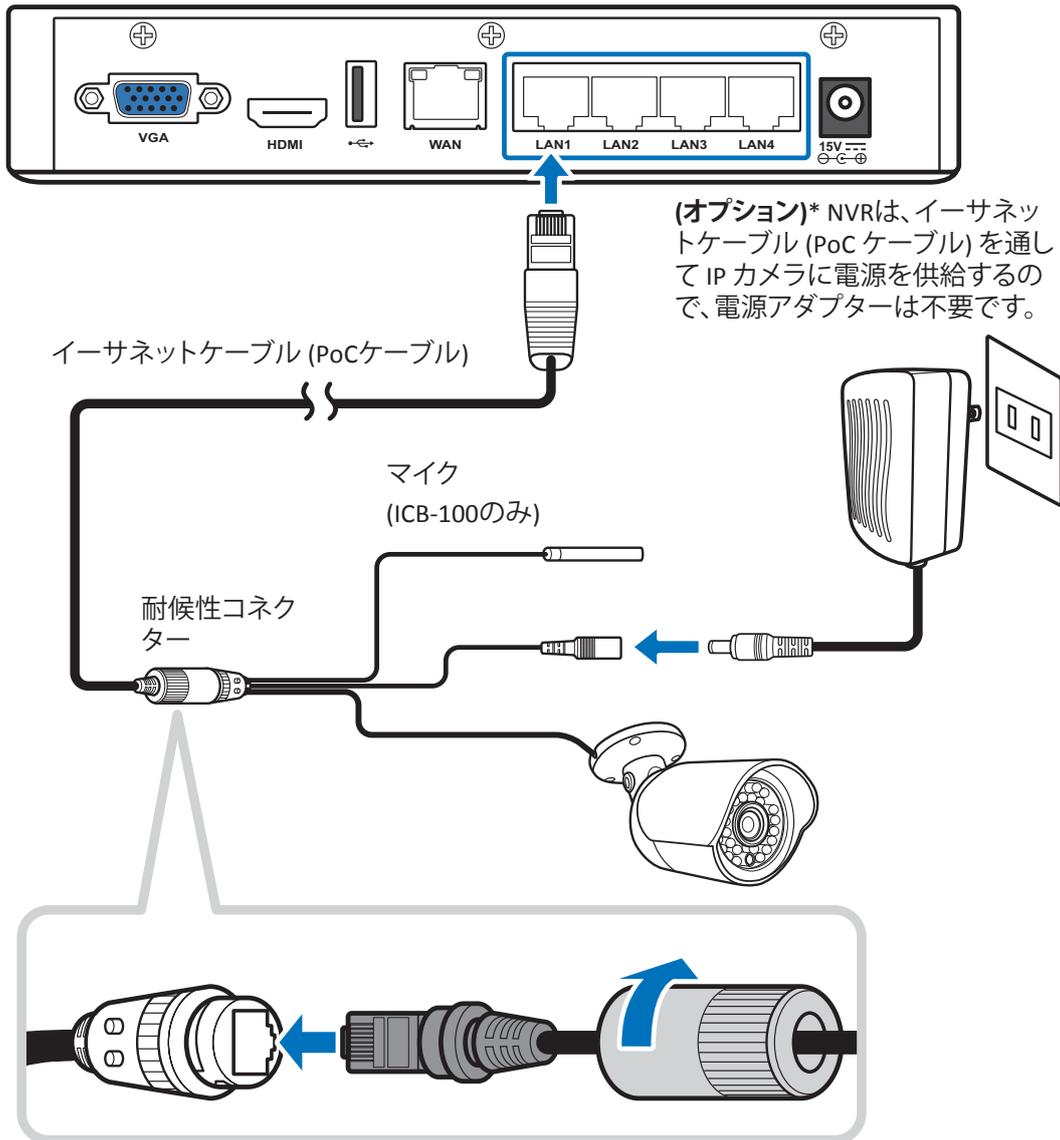
- 1) **VGA 出力**:VGA モニターに接続します。
- 2) **HDMI 出力**:HDMI 経由でモニター /TV に接続します。
- 3) **USB ポート**:USB マウス、フラッシュディスク、およびその他の外部ストレージドライブに接続します。
- 4) **WAN ポート**:RJ-45 経由でルーターに接続します。
- 5) **LAN1 ~ LAN4 ポート**:IP カメラからのメインビデオ入力。
- 6) **電源**:電源アダプターに接続します。

図に示すように接続を行います。

1.HDMI (推奨) または VGA コネクター経由でモニター /TV を NVR に接続します。



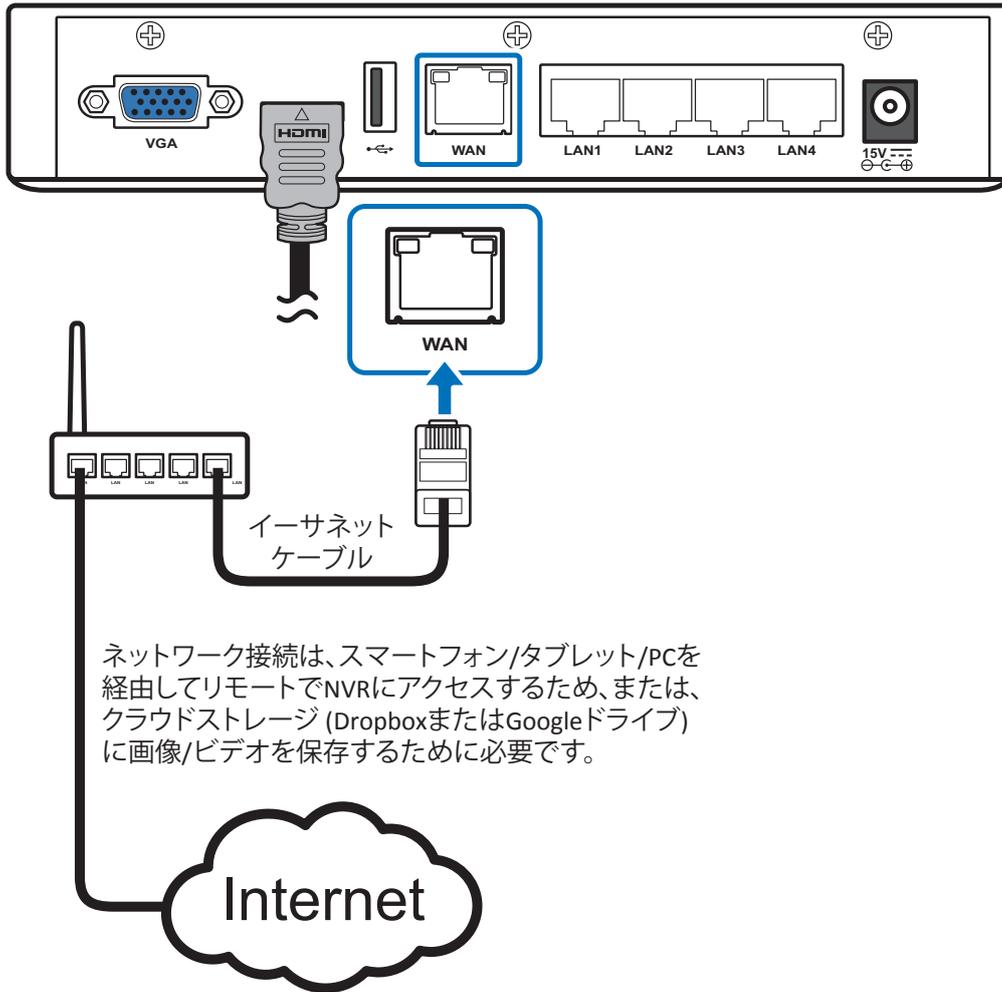
2.IP カメラを組み立てます



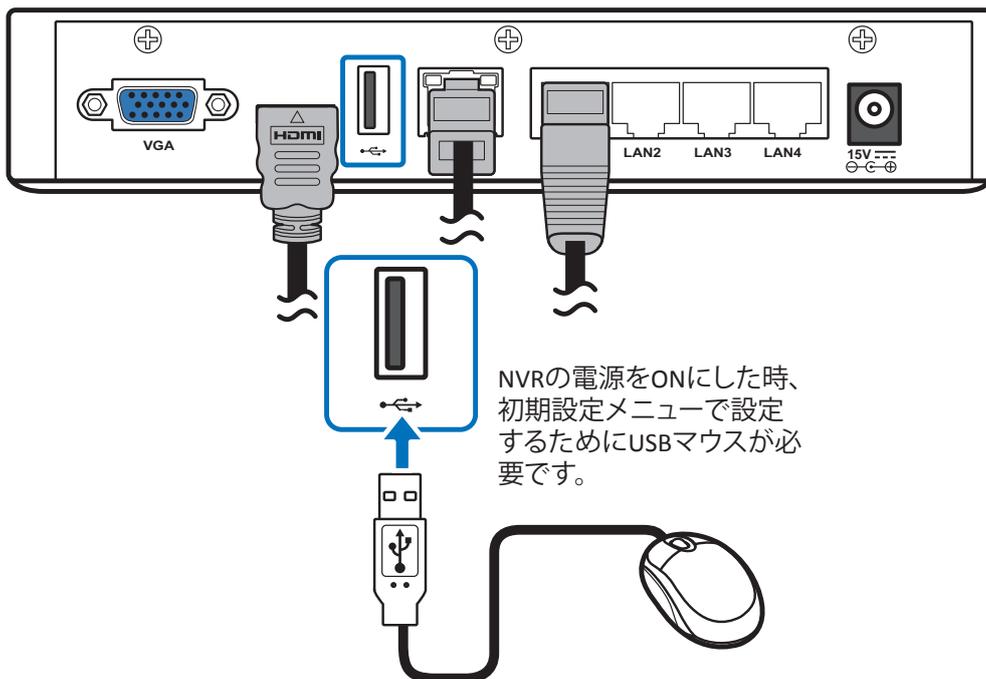
注意:

- IP カメラを NVR から 60m 以上離して設置する場合、追加電源アダプター (12V/1A) を使用する必要があります。
- 電源アダプターを使用することにより、IP カメラを NVR から最大 500m 離して設置することができます。

3.NVR をインターネットに接続します。

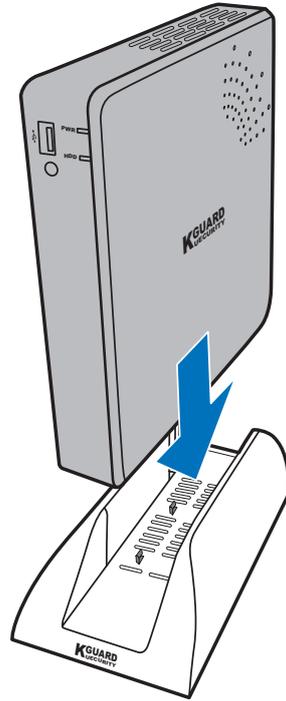


4.USB マウスを NVR の USB ポートに接続します。



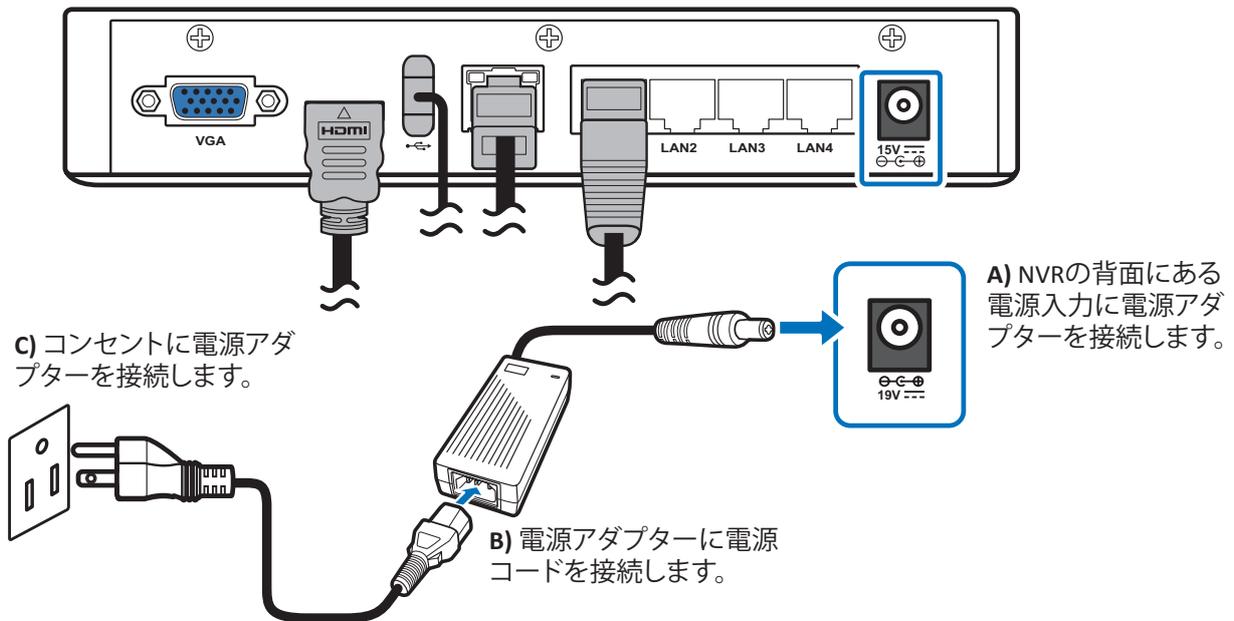
ステップ 4:NVR をスタンドに取り付ける (オプション)

NVR は、デバイスの縦置き用スタンドを装備しています。NVR をスタンドに取り付けるには、次の図を参照してください。



ステップ 5:NVR の電源 ON

図の「A」から「C」の手順に従い、NVR の電源を ON にします。



NVR の電源を ON にすると、モニター /TV 画面にスタートアップウィザードが表示されます (次のステップを参照してください)。初めて NVR の電源を ON にする場合、ウィザードを通して、利用可能な様々な設定オプションを入力することを推奨します。

注意:スタートアップウィザードのスキップを決定した場合でも、NVR の OSD メニューを経由して、すべての設定オプションにアクセスすることができます。

ステップ 6: スタートアップウィザードの項目を設定する

スタートアップウィザード上の項目を設定する場合、最も便利な方法は、付属の USB マウスを使用することです。24 ページの「付属 USB マウスの使用」で、USB マウス操作を参照してください。

ウィザードには、NVR を操作する方法を選択できるようにする設定画面が含まれています。また、ウィザード上のすべての項目には、NVR のメインメニューを経由してアクセス可能です (41 ページの「メインメニュー」を参照)。

スタートアップウィザード



スタートアップウィザードで設定を行わず、直ちに ライブ映像表示画面へのアクセスを希望する場合 (ステップ 7)、[Cancel (キャンセル)] をクリックしてください。画面上に確認メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



再起動後、スタートアップウィザードを無効にする場合は、[OK] をクリックしてください。



注意: また、スタートアップウィザード上のすべての項目には、NVR のメインメニューを経由してアクセス可能です。

[Next Step (次のステップ)] をクリックして、次の画面に移動します。

HDDウィザード



初めて NVR を起動する場合は、HDD をフォーマットする必要があります。それを行った場合のみ、NVR は映像を録画することができます。HDD をフォーマットするには、[Select (選択)] チェックボックスにチェックを入れ、[Format HDD (HDD のフォーマット)] をクリックします。選択の確認を求める警告メッセージが開きます。[OK] をクリックします。



画面の上に [Format Completed! (フォーマット完了!)] 通知メッセージが表示されるまで待機します。[OK] をクリックします。



注意: 次回 NVR を起動する際、カメラからの録画は自動または、定義されたスケジュールに基づいて実行されます。したがって、ハードディスクに問題が発生しない限り、再度 HDD をフォーマットする必要はありません。

[Overwrite (上書き)]: このオプションを使用すると、HDD が一杯になった場合、HDD 上の古い録画が上書きされます。例えば、7 日間のオプションを選択した場合、最新の 7 日間の録画のみが HDD 上に保持されます。古い録画の上書きを回避するには、[Disable (無効)] を選択します。

[Next Step (次のステップ)] をクリックして、次のウィンドウに移動します。

一般設定

時刻と日付が正しく設定されていることが非常に重要です。盗難の場合、例えば、ビデオ映像は、裁判所での証拠として使用することができますが、日付と時刻が一致しない場合、映像は正規の証拠とはみなされません。

[Date and Time (日付と時刻)]: 現在の日付と時刻が画面上に表示されます。日付および / または時刻を変更するには、対応するフィールドをクリックし、オンスクリーンキーボードを介して、変更を行う必要があります。

[Date Format (日付フォーマット)]: 日付を画面に表示する方法を選択します。お住まいの地域の標準フォーマットを使用することをお勧めします。

[Time Format (時刻フォーマット)]: 時刻を画面に表示する方法を選択します。利用可能なオプションは 24 時間形式または 12 時間形式 (AM/PM) です。

[Language (言語)]: NVR に表示するメニュー項目の言語を選択します。

[Flicker (ちらつき)]: 地理的な位置に応じて、50Hz または 60Hz を選択します。

[Menu Time Outs (メニュータイムアウト)]: ご希望のメニュータイムアウトを選択します。この機能を無効にする場合は、**[OFF (オフ)]** を選択します。

[Next Step (次のステップ)] をクリックして、次のウィンドウに移動します。

ネットワーク

リモートライブ映像表示用に NVR に接続する場合、または、例えば、NVR の日付と時刻を自動的に同期させる場合、ネットワーク設定を行う必要があります。

PPPoE/DHCP/[Static (固定)]: 使用しているネットワークタイプを選択します。最も一般的なタイプは、**DHCP** または **[Static (固定)]** です。ネットワークが手動でアドレス指定 (通常、と呼 **[Static (固定)]**) されていない限り、おそらくネットワークタイプは、**DHCP** です。

注意: ネットワークタイプが **[Static (固定)]** の場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および DNS サーバー 1/2 を決定する上での支援を受けるため ISP に問い合わせてください。ネットワークタイプが DHCP である場合、NVR は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS (1/2) などの接続パラメータを自動的に取得します。

[Client Port (クライアントポート)] および **[HTTP Port (HTTP ポート)]**: 当面は、デフォルトのポート値を保持します。クライアントポートおよび HTTP ポートは、HTTP インターフェイスを介して PC から、または、スマートフォン / タブレットからリモートで NVR にアクセスするために重要です。

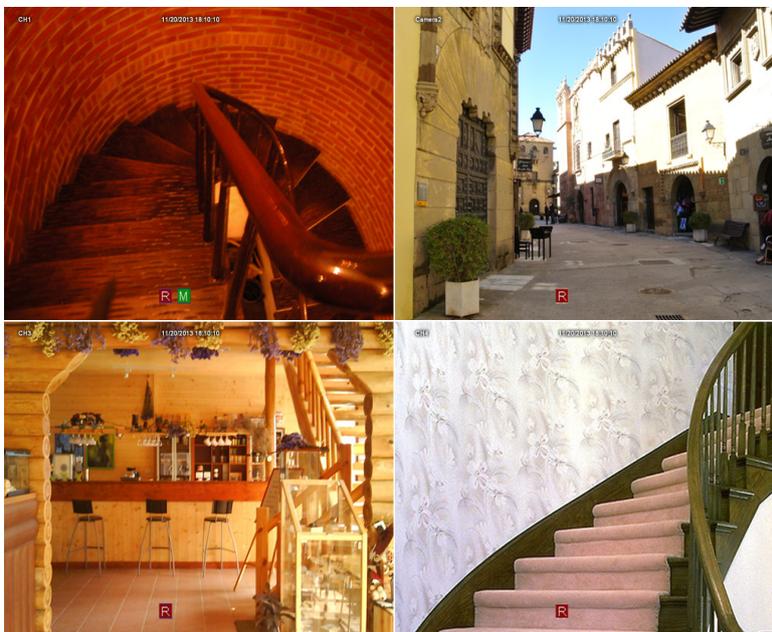
[Save (保存)] をクリックして設定を保存します。画面上に通知メッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



ステップ 7: カメラが機能していることを確認する

カメラが NVR へのビデオ伝送を開始するために最大 1 分かかる場合があります。ライブ映像表示画面上に画像が表示された場合、カメラが機能していることを意味します。

詳細情報については、18 ページの「ライブ映像表示画面を理解する」をご参照ください。



ステップ 8: カメラの取り付け

カメラを取り付ける場合は、次の手順に従います。

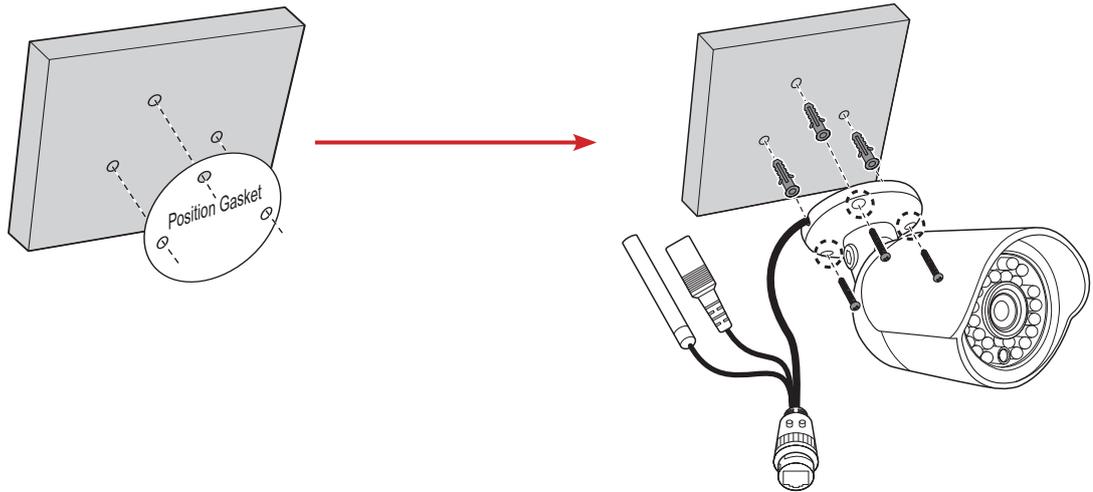
1. 例えば、壁など選択した面上に理想的なカメラ位置を探します。

注意: 例えば、蛍光灯の下など室内灯の近くにカメラを設置しないでください。また、直接光にカメラを向けしないでください。

2. 穴を開けてカメラを取り付けます。

ねじ穴の正確な位置を特定するために位置ガスケットを使用します。その後、取り付け位置に3つの小穴を開けます。

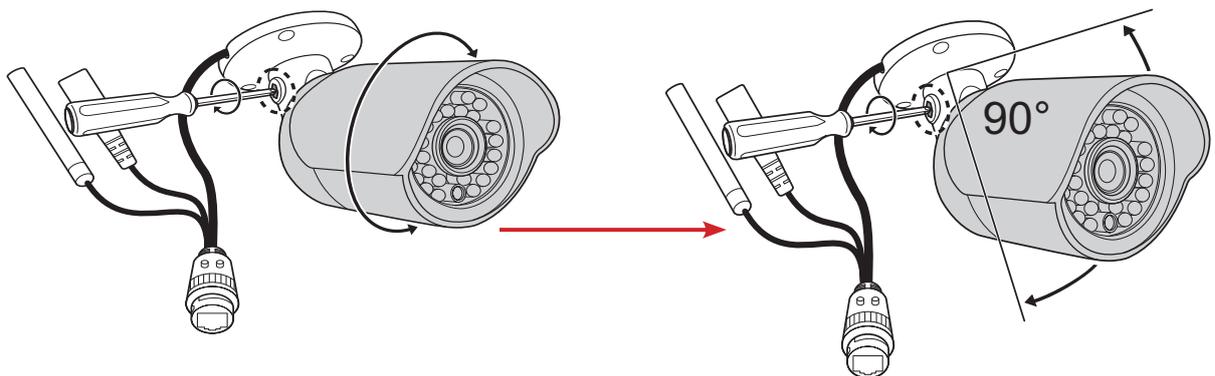
穴にプラスチック製のワッシャーを挿入します。その後、カメラ取り付けブラケットの末端の3つの穴の付属のネジを配置し、ドライバーを使って、壁の穴に固定します。



3. カメラを調整します。

スターレンチを使って、カメラの調整ねじを緩めます。監視領域に合わせてカメラの位置を調整します。

調整を行い、最適な位置が見つかったときに、位置を固定するための調整ねじを締めます。

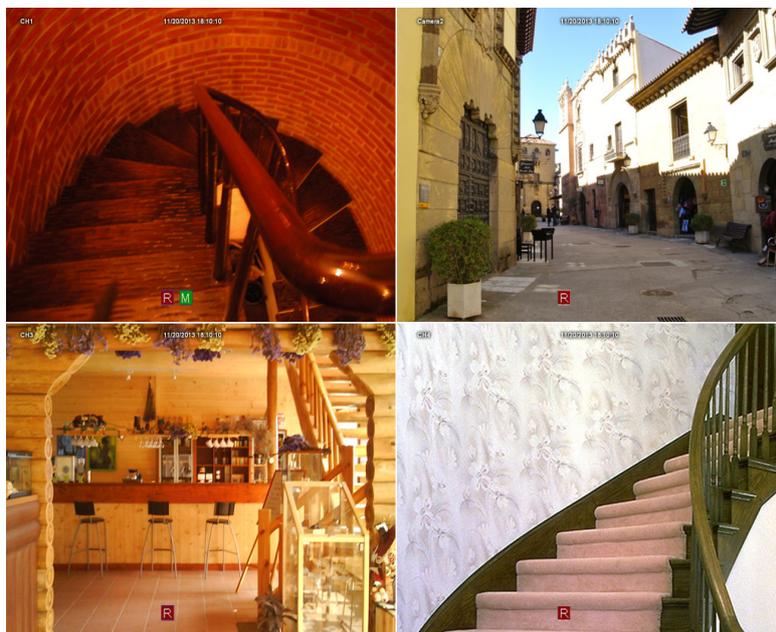


ライブ映像表示画面を理解する

スタートアップウィザードを経由またはスキップした後、最初に表示される画面はライブ映像表示画面です。これは、メイン画面とみなされます。この画面で、すべての接続されたカメラからのライブ映像表示を参照します。

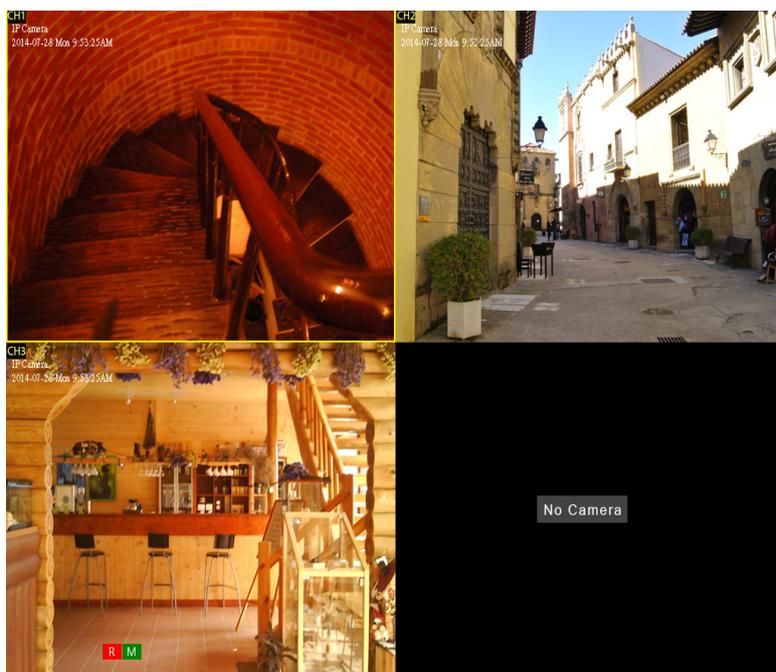
- 4分割画面

ライブ映像表示画面 (4台のカメラが接続されている場合)



これらのチャンネルには、接続されたカメラはなく、「No Camera (カメラなし)」の状態です。

ライブ映像表示画面 (カメラがない場合)



- フルスクリーンモード (全画面に1つのチャンネル)

チャンネルを全画面で見するには、チャンネルライブ映像表示をダブルクリックする必要があります。フルスクリーンモードを終了するには、再度、ダブルクリックします。

ライブ映像表示画面 (フルスクリーンモードの場合)



ライブ映像表示画面アイコン

ライブ映像表示画面上にチャンネル名、現在の日付およびインジケータが表示されます。これらのインジケータは、ビデオ録画が進行中であるかどうか、モーション感知があったかどうか、(内部) HDDに障害があるかどうか、あるいは、カメラに接続されているかどうかを知らせます。

チャンネル名

デバイス
IP

現在の日付/
時刻

ページのスクロール

インジケータ

MARSホームNVRコンボキット:ライブ映像表示画面を理解する

インジケータの意味は次の通りです。

アイコン	説明
	このアイコンがライブ映像表示上に表示された場合、そのチャンネル上でモーションが検出されたことを意味します。この機能を有効にするには、60ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」を参照してください。
	このアイコンがライブ映像表示上に表示された場合、NVRがHDDを検出できない、または、HDDがフォーマットされていないことを意味します。HDDをNVRにインストール済であることを確認してください。 7ページの「ステップ2:ハードディスクドライブ (HDD) のインストール」を参照するか、あるいは、62ページの「Device: HDD (デバイス:HDD)」を参照してください。
	このアイコンがライブ映像表示上に表示された場合、ビデオ録画が進行中であることを意味します。デフォルトでは、ビデオ録画はすべてのチャンネルに対して有効になります。このオプションを変更する場合は、チャンネルの録画を無効にすることができます。46ページの「Record: REC Para (録画:録画パラメーター)」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> ● R:ノーマル録画を示しています。 ● M:モーション/アラーム契機の録画を示しています。この機能を有効にする場合は、60ページの「Alarm: Motion (アラーム:モーション)」を参照してください。
カメラなし	カメラがNVRに接続されていません。
	各チャンネルを全画面表示している時、このアイコンを使って、ライブ映像表示ページを左右にスクロールします。

ライブ映像表示画面上的ポップアップメニュー

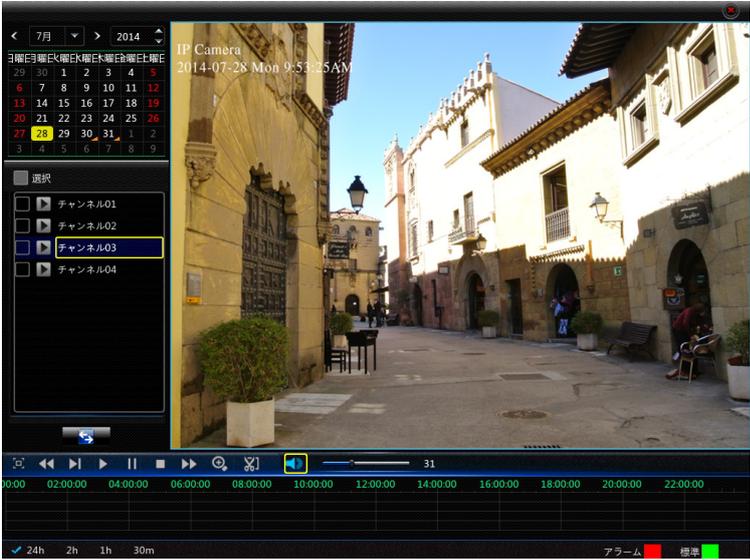
ポップアップメニューを経由してメインメニューにアクセスし、NVRの設定および他の共通機能を変更することができます。ポップアップメニューを表示するには、ライブ映像表示画面上で右マウスボタンをクリックするか、またはリモコンのMENUボタンを押します。



番号	ボタン	説明
1	メインメニュー	これは、NVRの全設定を行うことができるメインメニューです。 

MARSホームNVRコンボキット:ライブ映像表示画面を理解する

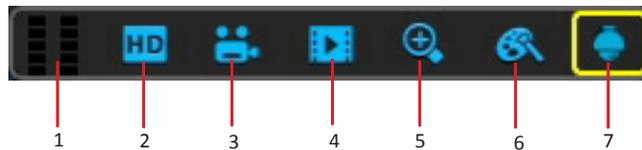
番号	ボタン	説明
2	メニューロック	 をクリックして、OSDメニューに入るアクセスをロックします。OSDメニューに入る前に、ユーザー名とパスワードをタイプする必要があります。24ページの「画面のロック」を参照してください。 注意: デフォルトのユーザー名は、「admin」、そして、パスワードは、「123456」です。
3	表示4	4分割表示に切り替えます。例えば、フルスクリーンモードまたはシーケンスモードでチャンネルを表示した後、4分割表示に切り替えます。
4	ストリームスイッチ (ライブ映像解像度の場合)	 をクリックして、録画ストリーム (HD解像度) とリモートストリーム (VGA解像度) の間を切り替えます。 注意: 録画ストリーム (デフォルト) が選択されている場合、  アイコンがメニューに表示されます。リモートストリームが選択されている場合、  アイコンがメニューに表示されます。
		
5	表示効果 (ライブ映像品質の場合)	 をクリックして、リアルタイム、バランスまたはスムーズ表示の間を切り替えます。表示効果モードは、ビットレートおよびフレームレートにより表示される映像品質のみ影響を与え、録画品質に影響を与えることはありません。
		<ul style="list-style-type: none"> • [Realtime (リアルタイム)]: カメラからのリアルタイム品質の映像を表示します。 • [Balanced (バランス)]: NVRの現在のCPU負荷に応じる品質でカメラからの映像を表示します。 • [Smooth (スムーズ)]: より低いフレームレートおよびビットレートでカメラからの映像を表示します。
		
6	SEQ開始	 /  をクリックして、シーケンスモードでのチャンネル表示を開始/停止します。シーケンス時間を44ページの「Display: Output (ディスプレイ: 出力)」で設定することができます。
7	ミュート	 をクリックして、音量を制御します。
		
		注意:  をクリックして、音量を消音します。アイコンが  に変わります。オーディオ機能は、ICB-100カメラを用いる場合のみ利用可能です。
8	クルーズ開始 (MARSホームNVRではサポートされません)	PTZコントロールパネルを通して各チャンネルに対するプリセットポイントを設定する必要があります。プリセットポイントは、一連のクルーズ動作としてカメラに対して機能します。  /  をクリックして、PTZカメラに対するクルーズモードを開始/停止します。

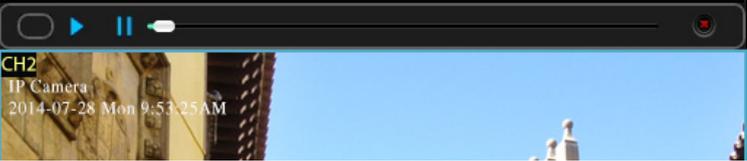
番号	ボタン	説明
9	再生	<p>をクリックして、再生ウィンドウを開きます。再生する日付/時刻およびチャンネルを選択します。詳細については、47ページの「Search: Record Search (検索: 録画検索)」をご参照ください。</p>  <p>注意: をクリックして、再生ウィンドウを終了します。</p>

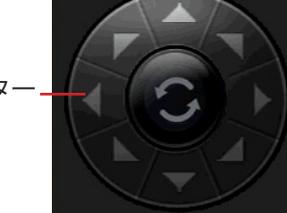
クイックカメラメニュー

このメニューは、個々のチャンネルを制御するためのものです。クイックカメラメニューを経由して、ストリームを切り替え、手動録画を開始/停止し、最新の5分間の録画を再生し、ズームイン/ズームアウトし、特定チャンネルのカラーを設定することができます。

クイックカメラメニューにアクセスするには、チャンネル表示上で左クリックします。



番号	ボタン	説明
1	位置変更	 をクリックして、クイックカメラメニューの位置を変更します。
2	ストリームスイッチ	 または  をクリックして、チャンネルを録画ストリーム (HD解像度でのライブ映像表示) およびリモートストリーム (VGA解像度でのライブ映像表示) に切り替えます。
3	レコード	 /  をクリックして、手動録画を開始/停止します。手動録画を開始した場合、再度RECボタンをクリックした時のみ録画が停止することに注意してください
4	再生	<p>をクリックして、最新の5分間の録画のチャンネル再生を確認します。</p> <p>注意: 日付またはチャンネルを変更する場合は、ポップアップメニュー (20ページの「ライブ映像表示画面上のポップアップメニュー」) またはメインメニュー (47ページの「Search: Record Search (検索: 録画検索)」) の再生を使用してください。</p>  <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> をクリックして、再生ウィンドウを終了します。 をクリックして、再生ナビゲーションバーの位置を変更します。

番号	ボタン	説明
5	ズーム	<p>をクリックして、チャンネルを全画面に開きます。そして、チャンネル上のズームインする領域にマークを付けます。</p>  <p>注意:チャンネル上で右クリックして、ズームモードを終了します。</p>
6	カラー設定	<p>をクリックして、チャンネルのカラー設定を行います。</p> <p>重要:これらの設定に対する変更は、録画される映像の品質に影響を与えます。</p> 
7	PTZ (MARSホームNVRではサポートされません)	<p>をクリックして、PTZスピードドームカメラに対するPTZ (パン-チルト-ズーム) 設定を行います。</p>  <p>チャンネル選択 スピード</p> <p>ポインター パン</p> <p>ズーム/フォーカス/絞り</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チャンネル選択 (): クリックしてPTZカメラのチャンネルを選択します。 ● スピード (): スピードスクロールバーをスクロールさせて、カメラのチルト、パンおよびズームのスピードを選択します。高い数字を設定すると、動作が高速になります。 ● ズーム/フォーカス/絞り: 可変ズームPTZカメラを使用している場合、ズームインするとディスプレイ上の被写体のサイズは大きくなりますが、視野は狭くなります。フォーカス機能を使用して、ディスプレイ上の画像を鮮明にします。絞り機能を使って、カメラに入る光の量を制御します。画面上の表示が明るすぎる場合は絞り値を下げ、暗すぎる場合は値を上げます。 ● ポインターパン (): 方向矢印をクリックしてPTZカメラの方向を選択します。中央のアイコンをクリックすると、自動パンモードに切り替わります。

基本NVR操作

付属USBマウスの使用

NVRを操作する最も簡単な方法は、付属の光学USBマウスを使用することです。USBマウスには下記のように機能する2つの制御ボタンがあります。

左クリック:メニューの項目を選択し、選択を確認する場合にクリックします。

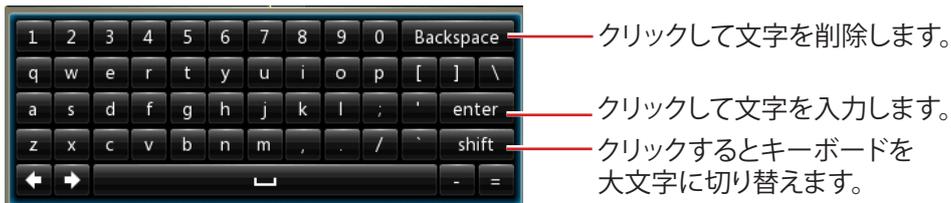
右クリック:クリックして、ライブ映像表示画面上にポップアップメニューを開いたり、メニューを終了したりします。

左ボタンをダブルクリック:ライブ映像表示画面上でチャンネルをダブルクリックして、チャンネルをフルスクリーンモードで表示します。再度ダブルクリックして、フルスクリーンモードを終了します。

エリアまたは線のドラッグ:モーションモードで、モーションエリアを選択します。メニューモードで、スライダーおよびスケールの値を調整します。

仮想キーボード

データ入力が必要な場合は、仮想キーボードが自動的に画面に表示されます。



画面のロック

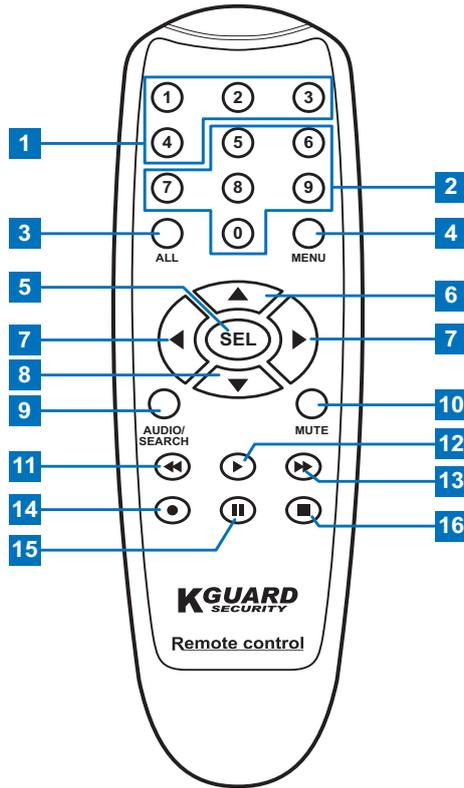
認証されていない者によるOSD操作から保護するため、画面がロックされます。OSDメニューに入る前に、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。画面をロックするには、ポップアップメニュー上の  をクリックします。デフォルトユーザー名およびパスワードを下の通りです。

- ユーザー名: **admin**
- パスワード: **123456**



システムのセキュリティ上、プライバシー保護のためNVRのデフォルトパスワードを変更することをお勧めします。パスワードを変更するには、69ページの「System: Users (システム:ユーザー)」をご参照ください。

付属のリモコンの使用



番号	アイコン	説明
1	1~4	数字キー これを押すと1~4チャンネルを表示します。 注意: NVRIは4チャンネルをサポートします。
2	0, 5~9	該当事項はありません。
3	全て	これを押すと全チャンネルを表示します。
4	メニュー	これを押してメインメニューに入ります。
5	SEL	これを押すと、選択したメニュー項目に入り、設定を編集します。
6	▲	これを押すとメインメニュー内で上に移動します。
7	◀▶	これを押すとメインメニュー内で左右に移動します。
8	▼	これを押すとメインメニュー内で下に移動します。
9	音声 / 検索	該当事項はありません。
10	ミュート	該当事項はありません。
11	◀◀	ビデオの再生時にこれを押すと巻き戻します。
12	▶	これを押して録画済みビデオを再生するか、または録画検索メニューに入ります。
13	▶▶	ビデオの再生時にこれを押すと早送りします。
14	●	これを押すと手動録画を開始します。
15		これを押すとビデオ再生が一時停止します。
16	■	これを押すと手動録画を停止するか、またはビデオ再生を停止します。

NVRの再起動/シャットダウン

NVRを再起動またはシャットダウンするには、[Main Menu (メインメニュー)]-> [Advanced (詳細)]-> [Maintain (維持)]を開き、[Shutdown (シャットダウン)]をクリックします。

注意: NVR上のデータを保護するために、必ず[Shutdown (シャットダウン)]メニューボタンを使って、NVRをシャットダウンしてください。



ユーザー名とパスワードを入力するよう指示されます。その後、[Shutdown (シャットダウン)]または[Reboot (再起動)]を選択します。



注意: [Shutdown (シャットダウン)]ボタンをクリックすると、録画が停止し、安全に電源装置を取り外すことができる旨が通知されます。



アクセシビリティ機能

NVR をネットワークに接続する方法

ステップ 1: NVR に電源アダプターを接続します。12 ページの「ステップ 5: NVR の電源 ON」をご参照ください。
ステップ 2: NVR の背面の WAN ポートからの RJ-45 ケーブルをルーターの利用可能なポートに接続します。11 ページの「3. NVR をインターネットに接続します。」をご参照ください。

ステップ 3: 固定または PPPoE 接続を使用する場合は、NVR 上でネットワーク設定を行ってください。53 ページの「Network: Network (ネットワーク: ネットワーク)」をご参照ください。

注意: ネットワーク接続タイプまたはネットワーク設定で不明な点がある場合は、必ずインターネットサービスプロバイダ (ISP) に問い合わせてください。

NVR をインターネットに接続した後、PC やスマートフォン / タブレットを使用して、リモートで NVR に接続することができます。リモートデバイス (PC やスマートフォン / タブレット) に応じて、KViewQR アプリ (スマートフォン / タブレット (iOS/Android) の場合)、KView Center または Web クライアント (PC の場合) を使って、カメラからのライブ映像を参照することができます。

高アベイラビリティのために、Dropbox または Google アカウントにカメラからの写真 / ビデオをアップロードするように NVR を設定することができます。

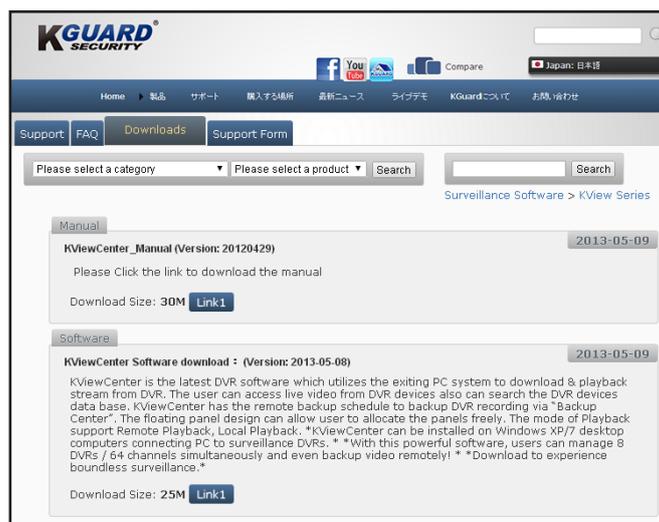
Web クライアントに関する詳細情報については、75 ページの「Web クライアントを経由するリモートアクセス」を参照してください。

KView Center

KView Center を使って、PC からリモートで NVR に接続します。接続を確立するために、NVR がインターネットに接続され、ポート転送の設定を完了していることを確認してください。

注意: NVR およびルーターの両方で UPNP を有効にする必要があります。53 ページの「Network: Network (ネットワーク: ネットワーク)」を参照してください。

KView Center の使用、及び、ソフトウェアのインストールに関する操作指示を読むには、当社の Web サイト <http://www.kguardsecurity.com> にアクセスし、ダウンロードページを開きます:[Support (サポート)] > [Download (ダウンロード)]。



KViewQR アプリ

NVR のリモートでアクセスするためにスマートフォン / タブレットを使用する前に NVR をインターネットに接続する必要があります。

注意: App Store (iOS) または Play Store (Android) で、**KViewQR アプリ**を検索する代わりに、スマートフォン / タブレットを使って、NVR の上部の QR コードをスキャンして、**KViewQR アプリ**のダウンロードページに直接アクセスすることができます。

以下の表は、互換性のあるデバイスおよびプラットフォームを説明しています:

プラットフォーム		サポートするオペレーティングシステム	無料アプリ名	アプリ入手先
iOS	iPhone	5.0以上	KViewQR	Apple App Store
	iPad			
Android	モバイル	3.0以上		Google Play Store
	タブレット			

クイックリファレンス

KViewQRアプリを検索する代わりに、スマートフォン / タブレットを使って、NVR の上部のQRコードをスキャンして、アプリのダウンロードページにアクセスすることができます。

デフォルトのアクセス情報:

- ユーザー名: admin
- パスワード: 123456

リモート接続を行うには、以下を行ってください:

ステップ 1: NVR をインターネットに接続する

27 ページの「NVR をネットワークに接続する方法」をご参照ください。

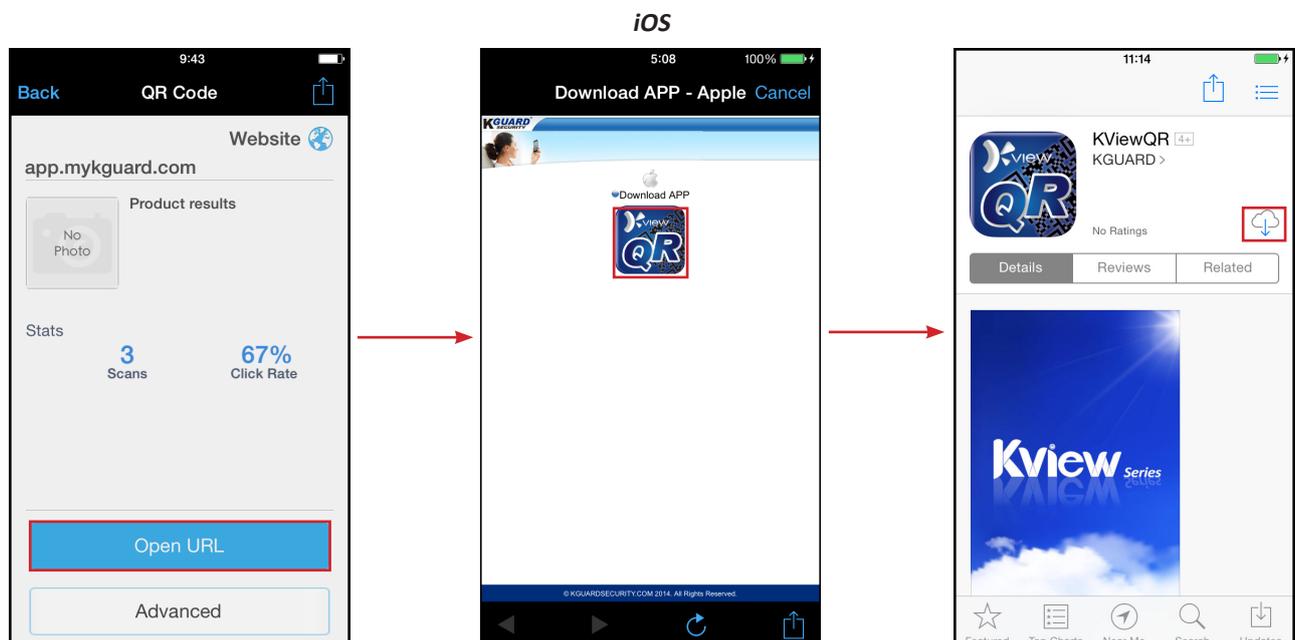
ステップ 2: アプリをインストールする

a. スマートフォン / タブレットのカメラを使って、NVR 上部の QR コードをスキャンします。
注意: スマートフォン / タブレットに QR コードスキャナーアプリをインストールする必要がある可能性があります。
 スキャン後、**KViewQR** アプリケーションに対するリンクが画面上に表示されます。

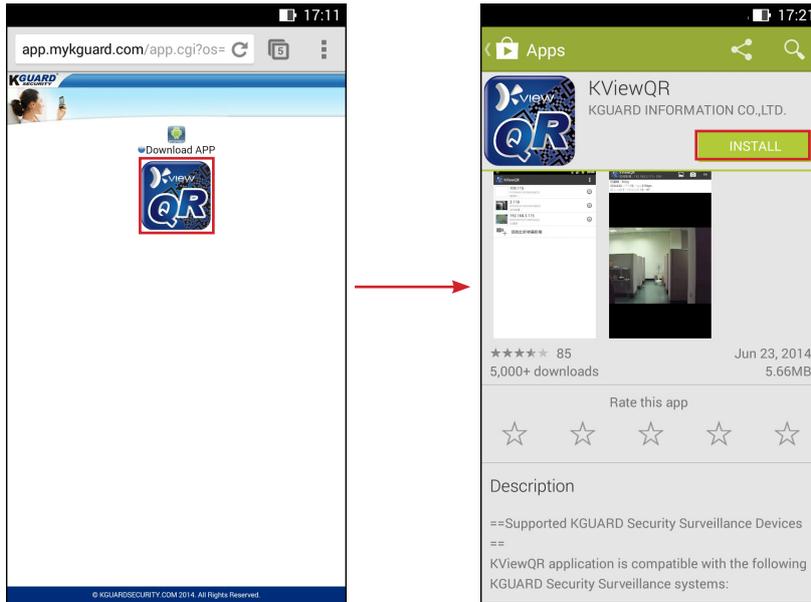


b. 以下を行い、**KViewQR** アプリケーションをスマートフォン / タブレットにダウンロードします:

- 1) iOS の場合 [Open URL (URL を開く)] をタップし、Android の場合アプリケーションリンクをタップします。
- 2) アプリケーションアイコン () をタップします。
- 3) アプリケーションをダウンロードします。

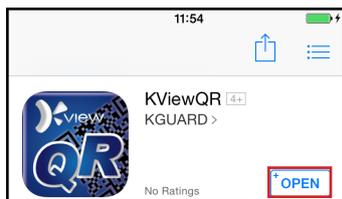


Android

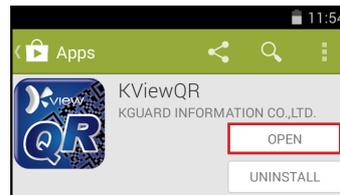


ステップ 3:アプリケーションを開く

iOS



Android



ステップ 4: NVR を識別・追加する

Android:

- a. をタップし、スマートフォン / タブレットのカメラを使って、NVR の上部の QR コードをスキャンします。NVR 識別ページが開きます。

注意: 代替策として、 をタップし、ローカルデバイスを検索する、あるいは、 をタップし、ラベルに印刷された NVR ID を手動で入力することで NVR を識別することができます。



- b. それぞれのフィールドにユーザーおよびパスワードを入力します。
注意: デフォルトのユーザー名は、「admin」、そして、パスワードは、「123456」です。
- c. [Save (保存)] をタップして、設定を保存します。NVR が、KViewQR アプリケーションのメインページに表示されます。

MARSホームNVRコンボキット:アクセシビリティ機能

iOS:

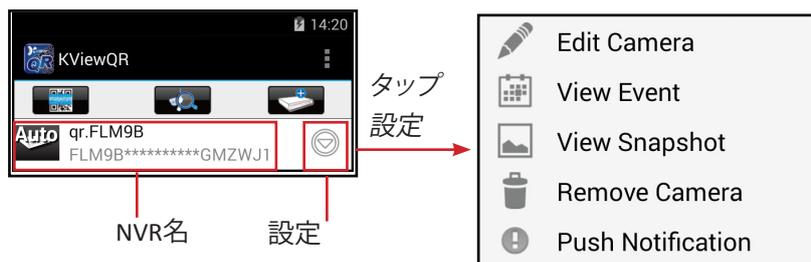
-  をタップし、スマートフォン/タブレットのカメラを使って、NVR の上部の QR コードをスキャンします。
注意: 代替策として、 をタップし、ローカルデバイスを検索する、あるいは、 をタップし、ラベルに印刷された NVR ID を手動で入力することで NVR を識別することができます。
- パスワードを入力し、[OK] をタップします。
注意: デフォルトのユーザー名は、「admin」、そして、パスワードは、「123456」です。
- [Save (保存)] をタップして、設定を保存します。NVR が、KViewQR アプリケーションのメインページに表示されます。



ステップ 5: ライブ映像画面を表示する

Android:

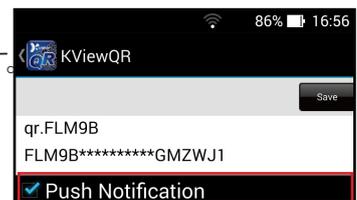
- NVR 名をタップして、ライブ映像画面を開きます。
注意:  をタップして、接続パラメータを編集し、カメライベント、キャプチャしたスナップショットを参照し、接続を削除し、プッシュ通知を設定します。



注意: プッシュ通知機能は、カメラによって検出されたイベントを通知するのに役立ちます。イベントが発生したり、侵入が検出された場合、アプリがオフラインの時でも、NVR は自動的に数分以内にスマートフォン/タブレットにプッシュメッセージを送信します。プッシュ通知をするには以下を行います。

- [Push Notification (プッシュ通知)] () をタップします。
- [Push Notification (プッシュ通知)] チェックボックスにチェックを入れます。
- [Save (保存)] をタップします。

注意: NVR 上でモーション感知を必ず設定してください。
60 ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」をご参照ください。



b. ライブ映像ページでチャンネルをタップして、以下のいずれかを行います：

-  をタップして、スナップショットをキャプチャします。
-  をタップし、[MUTE (ミュート)]、[LISTEN (リッスン)] または [SPEAK (スピーク)] をタップして、対応する機能を有効にします。

注意：[SPEAK (スピーク)] 機能は、MARS ホーム NVR ではサポートされません。

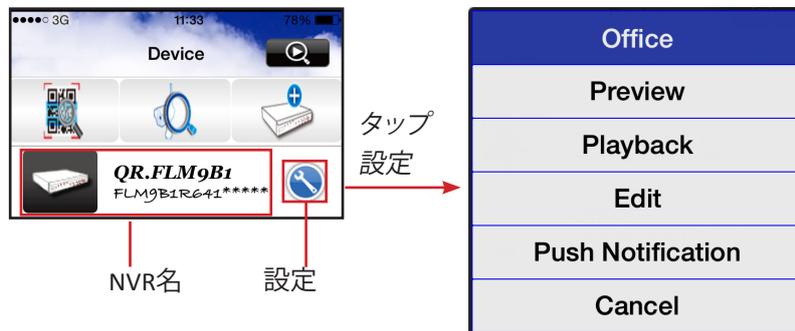
-  をタップして、カメラの方向を調整します (MARS ホーム NVR ではサポートされません)。



iOS:

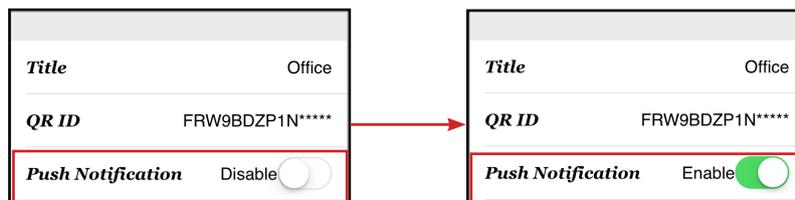
a. NVR 名をタップして、ライブ映像画面を開きます。

注意： をタップして、チャンネルをプレビュー表示し、再生にアクセスし、接続パラメータを編集し、プッシュ通知を設定し、または、メニューを終了します。



注意：プッシュ通知機能は、カメラによって検出されたイベントを通知するのに役立ちます。イベントが発生したり、侵入が検出された場合、アプリがオフラインの時でも、NVR は自動的に数分以内にスマートフォン / タブレットにプッシュメッセージを送信します。プッシュ通知をするには以下を行います。

- 1) [Push Notification (プッシュ通知)] をタップします。
- 2) [Push Notification (プッシュ通知)] 機能を有効にします。



注意：NVR 上でモーション感知を必ず設定してください。60 ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」をご参照ください。

MARSホームNVRコンボキット:アクセシビリティ機能

b. ライブ映像ページでチャンネルをタップして、以下のいずれかを行います：

-  をタップして、前ページに戻ります。
-  をタップして、チャンネル表示を変更します。
-  をタップして、再生およびギャラリー フォルダにアクセスします。
-  をタップし、[listen (リッスン)] ()、[mute (ミュート)] ()、または、[speak (スピーク)] () をタップして、対応する機能を有効にします。

注意：[SPEAK (スピーク)] 機能 (MARS ホーム NVR ではサポートされません)。

-  をタップして、カメラの方向を調整します (MARS ホーム NVR ではサポートされません)。
-  をタップして、ビデオを手動で録画します。
-  をタップして、スナップショットをキャプチャします。
-  をタップして、デバイス情報を表示し、映像品質を設定します。



クラウドストレージの使用

NVR のクラウドストレージ機能により、クラウドストレージアカウントを有効にし、接続されたカメラで撮影されたスナップショットまたはビデオを仮想ストレージに送信することができます。この機能により、ユーザーは、インターネットを通して、いつでも、どこからでもカメラサイトで何が起きているかを参照することができます。

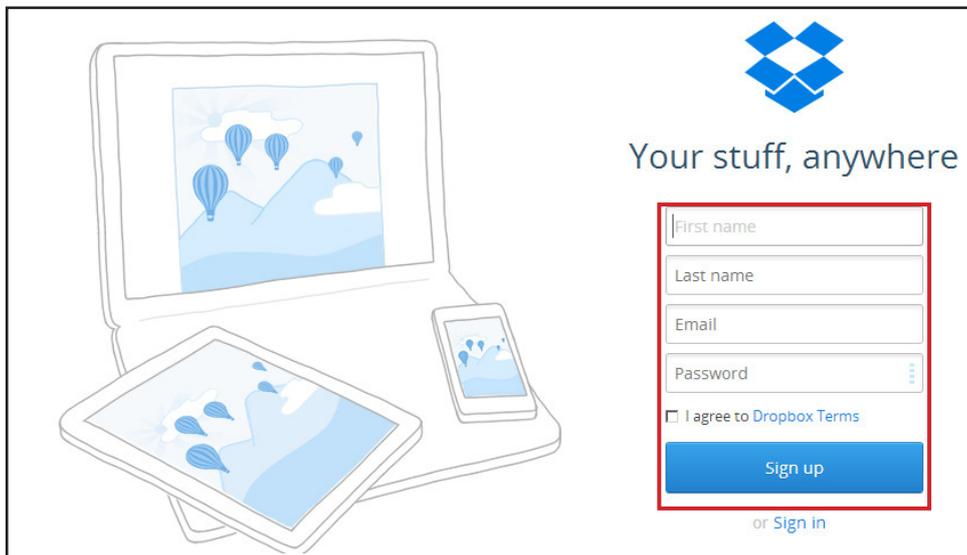
NVR は、Dropbox および Google ドライブ仮想ストレージの両方をサポートしますが、スナップショットまたはビデオをアップロードするために一つのみの仮想ストレージを選択する必要があります。NVR 上でクラウドストレージを設定する前に、Dropbox アカウント /Google アカウントが作成・有効化されていること、NVR にハードドライブがインストール・フォーマットされ、NVR がインターネットに接続されていることを確認してください。27 ページの「NVR をネットワークに接続する方法」をご参照ください。

Dropbox

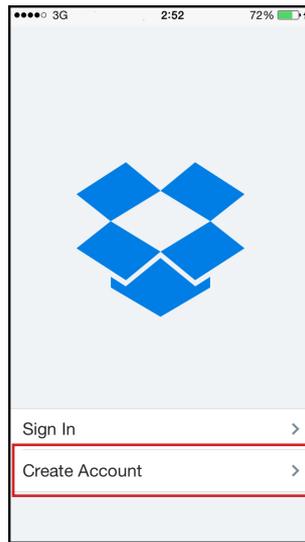
Dropbox アカウントの作成方法

Dropbox サービスにアクセスするためのアカウントを作成するために、以下を行います：

- PC を使っている場合は、Web ブラウザを開き、www.dropbox.com にアクセスします。メインページが開きます。[Sign up (サインアップ)] をクリックします。必須フィールドに入力し、アカウントを有効化します。



- スマートフォン / タブレットを使用している場合は、**Dropbox** アプリをダウンロードして開きます。**[Create Account (アカウントの作成)]** をクリックします。画面上の指示に従い、アカウントを設定します。



Dropbox に対するクラウドストレージ設定を行う方法

既に Dropbox アカウントを有効化している場合、KGuard クラウドアップローダーを Dropbox に接続する必要があります。接続を行う前に、NVR にハードドライブをインストールしていること (7 ページの「**ステップ 2: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール**」を参照) およびハードドライブがフォーマット済であること (62 ページの「**Device: HDD (デバイス:HDD)**」を参照) を確認してください。その後、NVR 上で以下の設定を行います (ライブ映像表示画面上で右クリックし、**[Main Menu (メインメニュー) -> [Device (デバイス)] -> [Cloud Storage (クラウドストレージ)]** に進みます)。



- **[Cloud Storage (クラウドストレージ)]**: クラウド設定を行います。
- **[Cloud Type (クラウドタイプ)]**: 一覧から **[Dropbox]** を選択します。
- **[Driver Name (ドライブ名)]**: NVR に対するクラウドストレージ名を入力します。KGuard クラウドアップローダーを Dropbox に接続する際、**[Drive Name (ドライブ名)]** は、KGuard がスナップショットおよび / またはビデオをアップロードするフォルダとして使用されます。
- **[Receiver (受信者)]**: Dropbox アカウントに関連付けられたメールアドレスを入力します。NVR は、Dropbox への NVR の接続の受入れを確認するためにこのメールアドレスに有効化メールを送信します。
- **[Cloud Version (クラウドのバージョン)]**: 現在のクラウドストレージのサービスバージョン。
- **[Cloud State (クラウドの状態)]**: 仮想ドライブに対する接続状態を表示します。

[Apply (適用)] をクリックして設定を保存します。その後、写真 / ビデオのアップロード設定を続行します。

- **[Upload Photo (写真のアップロード)]**:カメラから写真をアップロードする場合は、有効化し、**Setup (設定)** をクリックします。



チャンネル:Dropbox にアップロードする写真のチャンネルを選択します。

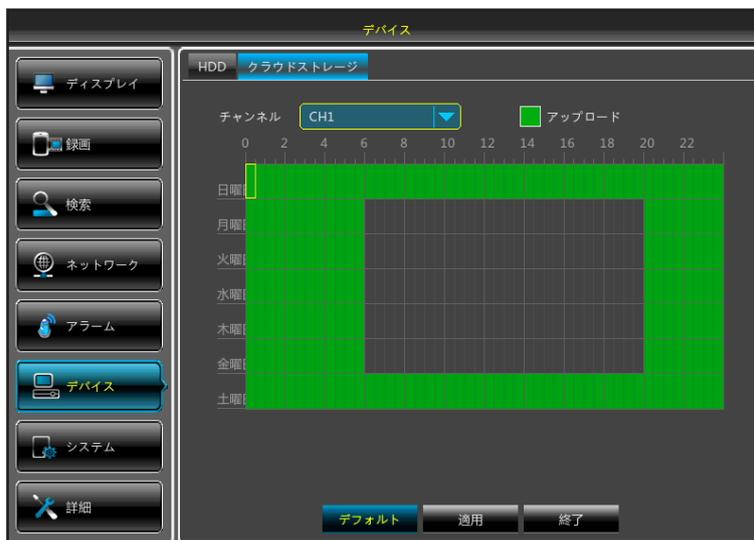
送信間隔:写真のアップロード送信間隔を設定します。

モーション感知:カメラがモーションを検出した時、Dropbox に写真をアップロードする場合、有効化します。モーションエリアを設定していない場合は、**[Motion Setup (モーション設定)]** をクリックします。60 ページの「Alarm: Motion (アラーム:モーション)」を参照してください。

注意:設定した送信間隔またはモーションが検出された場合に写真がアップロードされます。

[Apply (適用)] をクリックして、**[Upload Photos (写真のアップロード)]** に対する設定を保存します。

- **[Upload Video (ビデオのアップロード)]**:モーションが検出された時、カメラからビデオをアップロードする場合は、有効化し、**[Setup (設定)]** をクリックします。



チャンネル:Dropbox にアップロードするビデオのチャンネルを選択します。日付 / 時刻スロットに緑色のマークが付いている場合、これは、指定された日 / 時間の間にモーションが検出され、Dropbox にビデオがアップロードされたことを意味します。

注意:

- ビデオをアップロードする一つのチャンネルのみを選択することができます。
- 1 時間の間に、システムは最大 3 件の映像をアップロードします。
- アップロードされる映像の最大の期間は 10 秒間です。

[Apply (適用)] をクリックして、**[Upload Video (ビデオアップロード)]** に対する設定を保存します。

すべての設定が完了した後、**[Apply (適用)]** をクリックし、その後、**[Activate Cloud (クラウドの有効化)]** をクリックします。クラウドストレージ有効化メールを正常に受信した場合、詳細メール設定を行う必要はありません。

ヒント:画面の下の接続状態を参照します。例えば、正常接続の通知:

NVRDropboxファイルアップロード

注意:クラウドストレージアカウントが変更されるたび、または HDD がフォーマットされるたび、変更を認識するためにクラウドを再度有効化する必要があります。

詳細メール設定を行う必要がある場合は、[Advanced E-mail Setup (詳細メール設定)] ボタンをクリックします。

詳細メール設定

有効化メールを受信できない場合、または、KGuard の SMTP サーバーを使用しない場合 (デフォルト)、ここで、SMTP サーバーのパラメーターを設定することができます。

注意:有効化メールを受信するために、ステップ 33 ページの「Dropbox に対するクラウドストレージ設定を行う方法」において、受信者メールを入力していることを確認します。

設定完了後、[Test (テスト)] ボタンをクリックすることで設定をテストすることができます。



- [Email (E メール)]: 詳細メール設定を有効化します。
- [SSL]: メールサーバーが SSL 証明を必要とする場合、有効化します。不明な場合は、メールサービスプロバイダに相談してください。例えば、Gmail を使用している場合、このオプションを有効化する必要があります。
- [SMTP Port (SMTP ポート)]: メールサーバーの SMTP ポートを入力します。例えば、Gmail を使用している場合、SMTP ポートは 465 です。
- [SMTP Server (SMTP サーバー)]: メール SMTP サーバーアドレスを入力します。
- [Sender (送信者)]: メールアドレスを入力します。このメールアドレスは、Dropbox への NVR の接続の受入れを確認するための有効化メールを送信するためにのみ NVR によって使用されます。
- [Sender Password (送信者パスワード)]: メールパスワードを入力します。

すべての設定を完了後、[Apply (適用)] をクリックします。設定をテストする場合、[Email Test (メールテスト)] をクリックします。

クラウドを有効にします

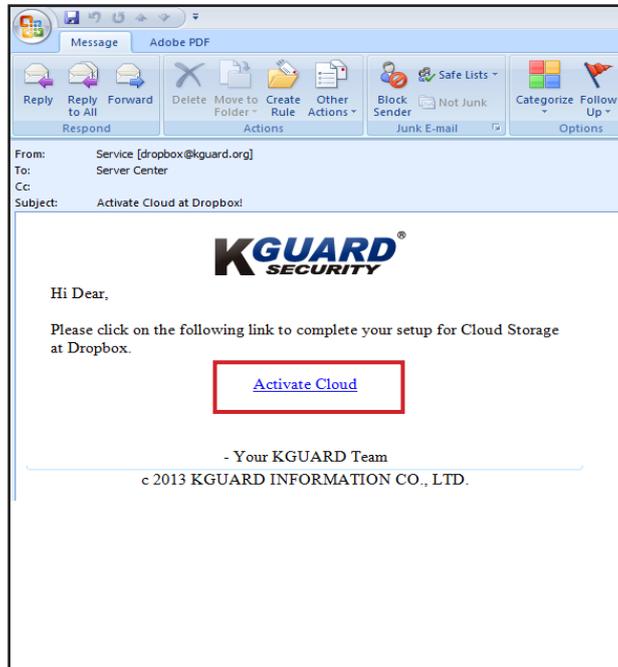
クラウドストレージ設定を完了した後、[Active Cloud (クラウドの有効化)] をクリックして、NVR を Dropbox に接続します。接続が完了すると、有効化メールが受信者のメールアカウントに送信されます。



注意: メールを確認する代わりに、スマートフォン / タブレットを使って、有効化通知メッセージに表示される QR コードをスキャンして、有効化を完了させることができます。36 ページの「スマートフォン / タブレットユーザーの場合:」を参照してください。

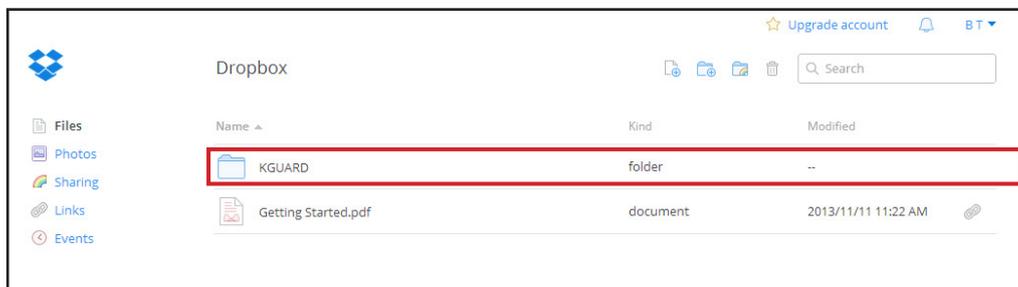
[OK] をクリックして続行します。

注意: 3 分以内にメールを確認し、[Activate Cloud (クラウドの有効化)] リンクをクリックしてください。



- PC ユーザーの場合:

画面上の指示に従ってクラウドアカウントの有効化を完了してください。有効化を完了すると、新しいフォルダが Dropbox のフォルダリストに追加されます。



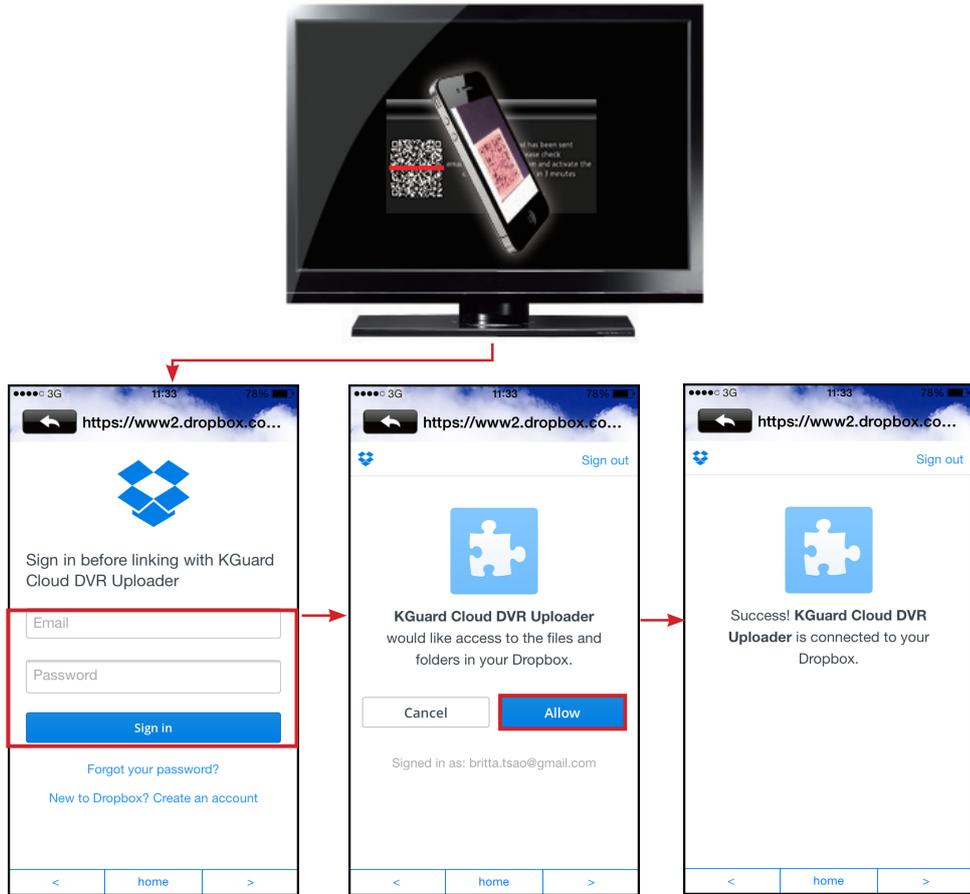
- スマートフォン / タブレットユーザーの場合:

KViewQR アプリをダウンロードし、QR スキャナーを使って、NVR の画面上のクラウドストレージ有効化メッセージの QR コードをスキャンします。**KViewQR** アプリについては、28 ページの「ステップ 2: アプリをインストールする」を参照してください。

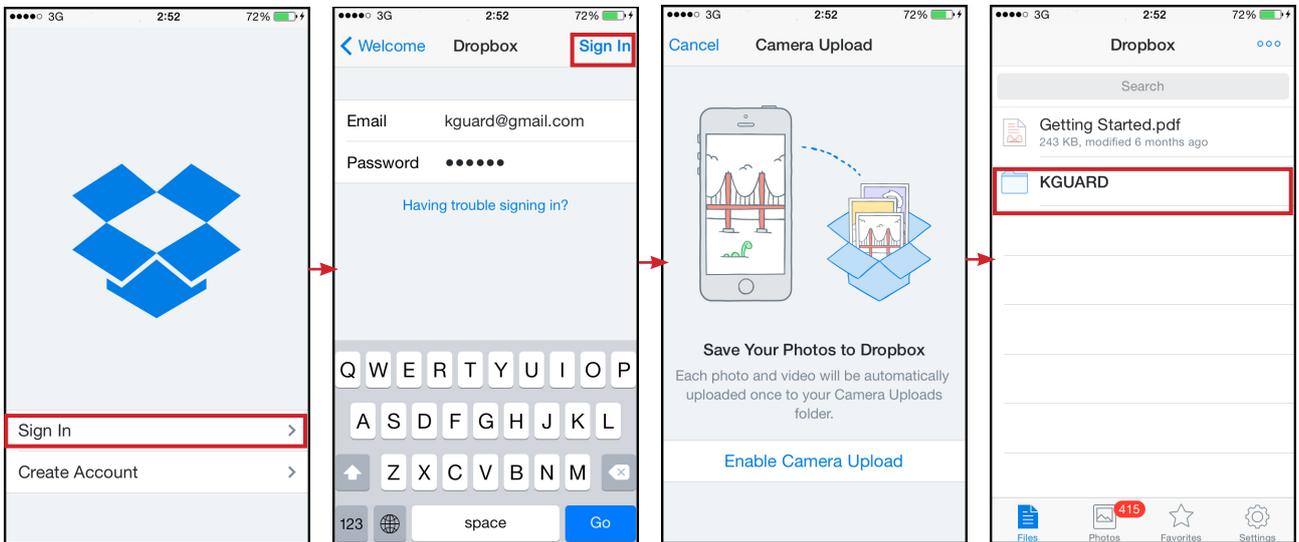
その後、Dropbox のメールアドレスとパスワードを入力し、[Sign In (サインイン)] をクリックして、クラウドストレージを有効化します。

画面上の指示に従ってクラウドアカウントの有効化を完了してください。有効化を完了すると、新しいフォルダが Dropbox のフォルダリストに追加されます。

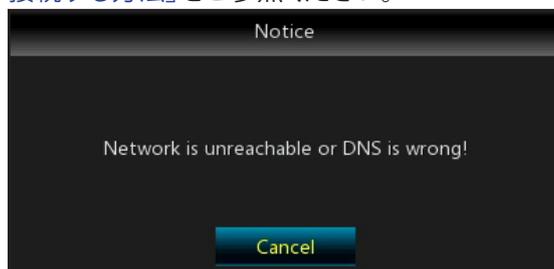
参照用に次ステップの以下の画像を参照してください。



アップロードされた写真および / またはビデオを参照するには、スマートフォン / タブレットで Dropbox アプリを開いて、あなたのアカウントでログインしてください。



注意:以下のエラーを受信した場合は、NVR がインターネットに接続されているか否かを確認してください。27 ページの「NVR をネットワークに接続する方法」をご参照ください。



Google ドライブ

Google アカウントの作成方法

注意: Google アカウントを既に持ちの場合は、このセクションをスキップしてください。

Google サービスにアクセスするためのアカウントを作成するために、以下を行います:

- Web ブラウザを開き、<https://accounts.google.com/SignUp> にアクセスして、必須情報を入力します。

Google アカウントの作成

1つのアカウントで Google サービスすべてを
1つのユーザー名とパスワードがあれば、Google のすべてのサービスをご利用いただけます。

いつでも一緒に
デバイスを切り替えても、前回の続きから作業を始められます。

名前
姓 名

ユーザー名を選択
 @gmail.com
[現在のメール アドレスを使用する](#)

パスワードを作成

パスワードを再入力

生年月日
年 月 日

性別
選択してください

携帯電話
 +886

現在のメール アドレス

ロボットによる登録でないことを証明
 この確認をスキップします(電話の確認が必要になる場合があります)

Google ドライブに対するクラウドストレージ設定を行う方法

既に Google ドライブアカウントを有効化している場合、KGuard クラウドアップローダーを Google ドライブに接続する必要があります。接続を行う前に、NVR にハードドライブをインストールしていること(7 ページの「ステップ 2: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール」を参照) およびハードドライブがフォーマット済であること(62 ページの「Device: HDD (デバイス:HDD)」を参照)を確認してください。その後、NVR 上で以下の設定を行います(ライブ映像表示画面上で右クリックし、[Main Menu (メインメニュー)] -> [Device (デバイス)] -> [Cloud Storage (クラウドストレージ)]に進みます)。

デバイス

HDD **クラウドストレージ**

クラウドストレージ Check

クラウドタイプ

ドライブ名

写真アップロード 設定

ビデオアップロード 設定

Gmailアカウント

Gmailパスワード

クラウドバージョン

クラウド状態:
インターネット接続

デフォルト 適用 終了

- [Cloud Storage (クラウドストレージ)]: クラウド設定を行います。
- [Cloud Type (クラウドタイプ)]: 一覧から、[Google Drive (Google ドライブ)] を選択します。
- [Driver Name (ドライブ名)]: NVR に対するクラウドストレージ名を入力します。KGuard クラウドアップローダーを Google ドライブに接続する際、[Drive Name (ドライブ名)] は、KGuard がスナップショットおよび / またはビデオをアップロードするフォルダとして使用されます。
- [Gmail Account (Gmail アカウント)]: Gmail アカウントを以下の形式 <username>@gmail.com で入力します。例えば、kguard@gmail.com です。
- [Gmail Password (Gmail パスワード)]: Gmail アカウントのパスワードを入力します。
- [Cloud Version (クラウドのバージョン)]: 現在のクラウドストレージのサービスバージョン。
- [Cloud State (クラウドの状態)]: 仮想ドライブに対する接続状態を表示します。

[Apply (適用)] をクリックして設定を保存します。その後、写真 / ビデオのアップロード設定を続行します。

- [Upload Photo (写真のアップロード)]: カメラから写真をアップロードする場合は、有効化し、[Setup (設定)] をクリックします。



チャンネル: Google ドライブにアップロードする写真のチャンネルを選択します。

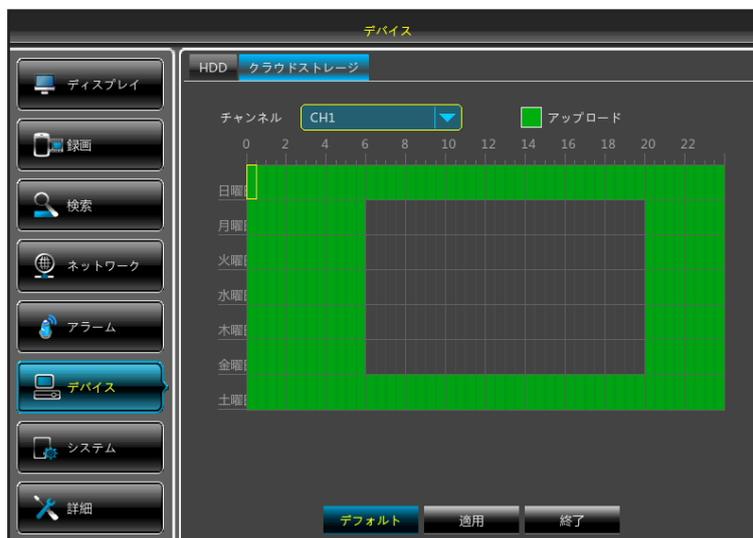
送信間隔: 写真のアップロード送信間隔を設定します。

モーション感知: カメラがモーションを検出した時、Google ドライブに写真をアップロードする場合、有効化します。モーションエリアを設定していない場合は、[Motion Setup (モーション設定)] をクリックします。60 ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」を参照してください。

注意: 設定した送信間隔またはモーションが検出された場合に写真がアップロードされます。

[Apply (適用)] をクリックして、[Upload Photos (写真のアップロード)] に対する設定を保存します。

- [Upload Video (ビデオのアップロード)]: モーションが検出された時、カメラからビデオをアップロードする場合は、有効化し、[Setup (設定)] をクリックします。



MARSホームNVRコンボキット:アクセシビリティ機能

チャンネル:Google ドライブにアップロードするビデオのチャンネルを選択します。日付 / 時刻スロットに緑色のマークが付いている場合、これは、指定された日 / 時間の間にモーションが検出され、Google ドライブにビデオがアップロードされたことを意味します。

注意:

- ビデオをアップロードする一つのチャンネルのみを選択することができます。
- 1 時間の間に、システムは最大 3 件の映像をアップロードします。
- アップロードされる映像の最大の期間は 10 秒間です。

[Apply (適用)] をクリックして、[Upload Video (ビデオアップロード)] に対する設定を保存します。

すべての設定を完了した後、[Cloud Storage (クラウドストレージ)] メニューで、[Apply (適用)] をクリックします。

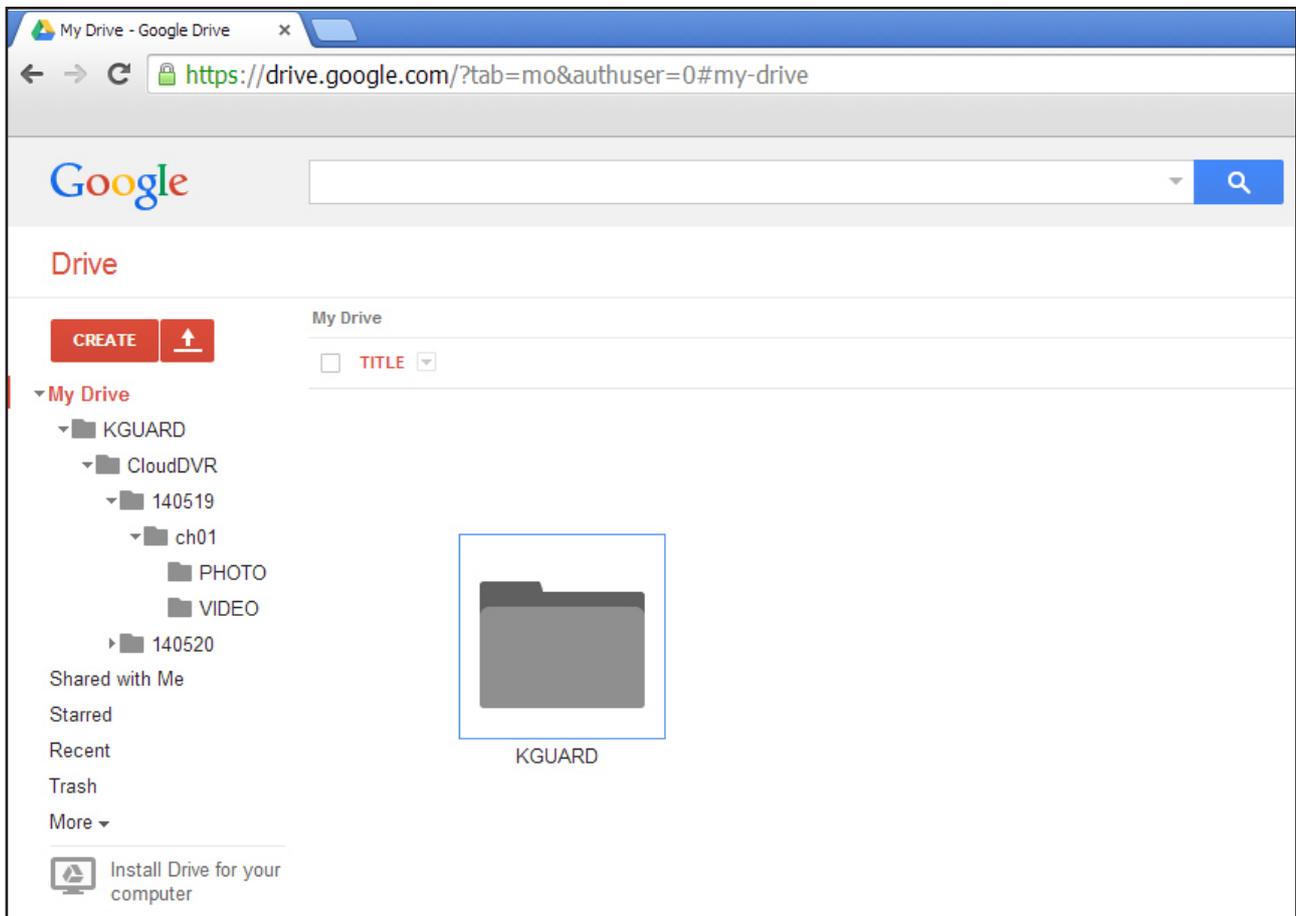
ヒント:画面の下の接続状態を参照します。例えば、正常接続の通知:

The certification of Google Drive is completed.

Google ドライブ上の写真 / ビデオを確認する

Google ドライブ上に NVR からアップロードした写真 / ビデオを確認するには、以下を実行します:

- Web ブラウザを開いて、<https://drive.google.com> にアクセスします。
- Google アカウントにログインし、NVR からアップロードした写真 / ビデオを確認します。



NVR と Google ドライブの間の接続が確立します。

NVRの操作

NVRのデフォルト設定があなたのニーズを満たしていない、または、NVRについてもっと学習したいため、本セクションに来られたと推察します。したがって、NVRの設定メニュー (メインメニュー) にアクセスする必要があります。メインメニューには、ローカルまたはWebクライアントを経由してアクセスすることができます。Webクライアントに関する詳細情報は、75ページの「Webクライアントを経由するリモートアクセス」を参照してください。

メインメニューを通して、以下の共通設定を変更することができます:

- **[Motion Detection (モーション感知)]**: スマートフォン/タブレットに対するプッシュ通知の送信を有効化します。60ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」をご参照ください。
- **[Recording Schedule ((録画) スケジュール)]**: 録画スケジュールを設定します。46ページの「Record: Schedule (録画: スケジュール)」をご参照ください。
- **[Network (ネットワーク)]**: NVRのネットワークに対するアクセスパラメーターを設定します。53ページの「Network: Network (ネットワーク: ネットワーク)」をご参照ください。

メインメニュー

ライブ映像表示画面上で右クリックして、 をクリックします。



- **[Display (ディスプレイ)]**: 表示、映像のカラー設定、ビデオ出力解像度、プライバシーゾーンの設定などすべてを設定します。
- **[Record (録画)]**: 録画オプション (例えば、解像度) およびチャンネルに対する録画スケジュールを設定します。
- **[Search (検索)]**: 様々なタイプにより、録画 (録画オプションを再生)、イベントおよびログを検索します。
- **[Network (ネットワーク)]**: ネットワークに対するNVRのアクセスパラメーターを設定し、リモートストリームに対するパラメーター (例えば、解像度) を定義し、通知受信に対するメール設定およびDDNSパラメーターを設定します。
- **[Alarm (アラーム)]**: モーションエリアおよび感度 (NVRを設定する際、非常に重要なパラメーター) を設定し、アラーム設定 (アラーム発生時に何を行うか) を行います。
- **[Device (デバイス)]**: 内部HDDが録画を提供する時間を表示し、HDD上書きオプションを決定します。また、ここで、PTZ設定パラメーター (MARSホームNVRではサポートされません) を設定し、NVRをDropboxアカウントまたはGoogleドライブに接続するための接続パラメーターを設定します。
- **[System (システム)]**: ここで、日付および時刻パラメーターを設定し、NVRのインターフェイス言語を変更し、ユーザーを変更し、システムに関する全般情報を参照することができます。このメニューで、スマートフォン/タブレットからNVRにアクセスするためのQRコードが表示されます。
- **[Advanced (詳細)]**: 基本保守タスク (例えば、スケジュール再起動) を変更します。起動オプションを決定し、ソフトウェアの更新を実行し、システムを安全にシャットダウンします。

注意: **[Apply (適用)]** をクリックして変更を保存します、**[Exit (終了)]** をクリックしてメニューを閉じます (または、メニュー上を右クリックします)、**[Default (デフォルト)]** をクリックしてデフォルト値を復元します。**[Copy/To (コピー/To)]** をクリックして、現在の設定を全チャンネルまたは特定の1つのチャンネルにコピーします。

ディスプレイ:カメラ

このページで、オンライン/接続済カメラを参照することができます。



- [Select Box (ボックス 選択)] (): タイトルバーにチェックを入れて、すべてのカメラにマークを付け、あるいは、カメラの隣にチェックを入れて、特定のカメラを選択します。
- [Channel (チャンネル)]: カメラ名を表示します。
- [Add/Delete (追加/削除)] ()/(): クリックして、カメラを追加または削除します (MARSホームNVRではサポートされません)。
- [Edit (編集)] (): クリックして、カメラの設定を変更します (MARSホームNVRではサポートされません)。
- [State (状態)] (): カメラの状態 (オンライン/オフライン) を表示します。
- [Modify (変更)] (): クリックして、カメラに対する変更を行います (MARSホームNVRではサポートされません)。
- [IP Address/Domain (IPアドレス/ドメイン)]: カメラのIPアドレス/ドメインを表示します。
- [Subnet Mask (サブネットマスク)]: カメラのサブネットマスクアドレスを表示します。
- [Port(ポート)]: カメラの接続ポートを表示します。
- [Manufacturer (製造元)]: カメラの製造元の名称を表示します。
- [Device Type (デバイスタイプ)]: デバイスタイプを表示します。
- [MAC Address (MACアドレス)]: カメラのMACアドレスを表示します。
- [Firmware Version (ソフトウェアバージョン)]: カメラのソフトウェアバージョンを表示します。
- [Reconnect (再接続)]: 再接続するカメラを選択し、[Reconnect (再接続)] をクリックします (MARSホームNVRではサポートされません)。
- [Delete (削除)]: 削除するカメラを選択し、[Delete (削除)] をクリックします (MARSホームNVRではサポートされません)。
- [Add All (すべて追加)]: クリックして、すべての利用可能なIPカメラを追加します (MARSホームNVRではサポートされません)。

注意:

- **[Add All IP cameras (すべてのIPカメラを追加)]** は、自分自身を認証する必要があります。プロンプトにユーザー名とパスワードを入力します。
- **[Add All (すべて追加)]** 機能を使うことで、NVRは迅速にカメラ接続に行われた変更を検出することができます。例えば、LAN3ポートからカメラを切断し、LAN4ポートに接続し、NVRに迅速にカメラ接続情報を更新させたい場合です。

ディスプレイ:カメラ設定



- **[Channel (チャンネル)]**: このメニューで、ライブ映像表示画面上でチャンネルを表示する方法を設定することができます。ドロップダウンメニューからチャンネルを選択します。
- **[Show Name (名称の表示)]**: チャンネル名をライブ映像表示画面上に表示しない場合、チェックを外します。
- **[Show Time (表示時間)]**: 時間をライブ映像表示画面上に表示しない場合、チェックを外します。
- **[Channel Name (チャンネル名)]**: フィールドをクリックして、デフォルトチャンネル名を変更します。
- **[Date Format (日付フォーマット)]**: ドロップダウンメニューから希望する日付フォーマットを選択します。
- **[Time Format (時刻フォーマット)]**: ドロップダウンメニューから希望する時刻フォーマットを選択します。
- **[Refresh Rate (リフレッシュレート)]**: 地理的な位置に応じて、50Hzまたは60Hzを選択します。設定を変更するには、**[Flicker (ちらつき)]** を「**System: General (システム: 全般)**」(68ページ) を参照してください。
- **[OSD Position (OSD位置)]**: ライブ映像表示画面上でチャンネル名および現在日付を表示する位置を決定します。OSD位置を設置するには、**[Setup (設定)]** をクリックします。



カメラ名ボックスまたは日付ボックスをクリックし、チャンネル表示上の希望の位置にドラッグします。右クリックして、設定画面を終了します。



- **[Color setting (カラー設定)]**: 不可避である場合のみ、これらの値を変更します。カラー変更は録画に影響を与えません。カラーを変更するには、**[Setup (設定)]** をクリックします。





色相:画像のアラームミックスを変更します。

明 (BRIGHT):ディスプレイ上に画像をどの程度明るく表示するかを定義します。

コントラスト:画像内の最も暗い黒色と最も白い白色の間の差異を増加します。画像のセクションが「グレイアウト」している場合、コントラストを変更します。

飽和度:画像にどの程度のカラーを表示するかを変更します。飽和度が高くなると、表示されるカラーがより明るく鮮明になります。このパラメーターの設定が高すぎる場合、画質が劣化する可能性があります。

Display: Output (ディスプレイ:出力)



- [Video Output (ビデオ出力)]:これは、ライブ映像表示に使用するメインモニターのビデオ出力です (MARSホームNVRではサポートされません)。
- [Seq Mode (SEQモード)]:一度に一つのチャンネル。
- [SEQ Dwell Time (SEQ滞留時間)]:シーケンスモードでチャンネルからのライブ映像表示を表示する時間を設定します。
例えば、4台すべてのカメラ (購入したモデルに依存します) を接続し、SEQ滞留時間に005を設定し、その後、SEQ開始アイコン (🕒) (20ページの「ライブ映像表示画面上のポップアップメニュー」を参照) を押します。次のシーケンスで、5秒間隔でカメラからのライブ映像が表示されます:チャンネル 1 -> チャンネル 2 -> チャンネル 3 -> チャンネル 4。
- [VGA/HDMI Resolution (VGA/HDMIの解像度)]:モニター/TVがサポートする最大解像度を選択します。利用可能なオプションは次の通りです:1024 x 768、1280 x 1024、1440 x 900、1280 x 720、および、1920 x 1080。解像度が高くなると、画像上により詳細が表示されます。解像度を変更後、NVRは再起動します。
- [Transparency (透明度)]:設定メニューを表示する方法を設定します。透明度を調整するには、スライドバーをクリックしてスライドします。スライドバーの隣の数字が、透明度のレベルを表示します。ライブ映像表示によっては、透明度が高くなると、メニュー項目の読み取りが難しくなる場合があります。環境に対して最適な設定を選択してください。

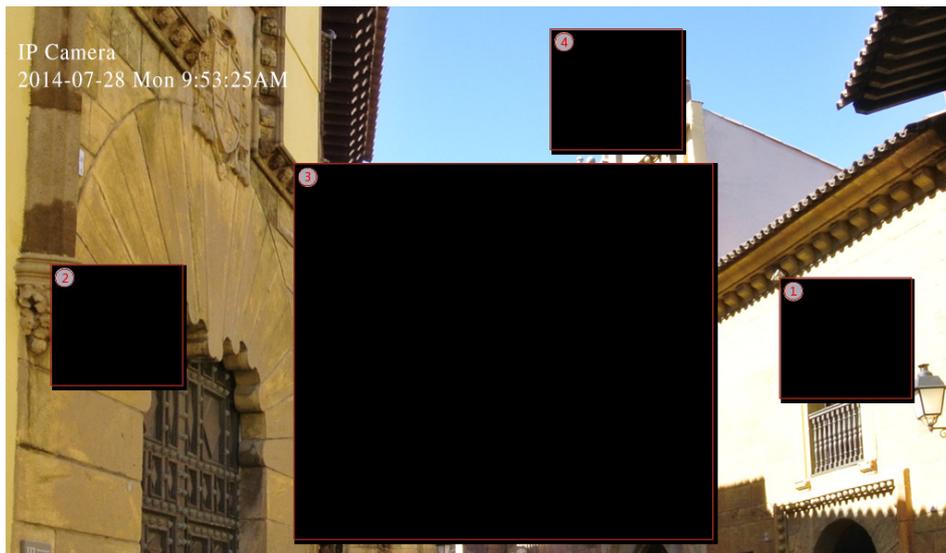


Display: Privacy Zone (ディスプレイ:プライバシージーン)



[Privacy Zone (プライバシージーン)] は、画像の一部をカバーするために使用することができます。最大4つのプライバシージーンを作成することができます。画像上に「ブラックエリア」として表示されます。ゾーンを作成する場所とその大きさを選択することができます。デフォルトの赤線の長方形の内部をクリックし、プライバシージーンを作成する場所にドラッグします。その後、赤線をクリックアンドホールドして、カーソルを動かしてゾーンに対する希望の形状を与えます。右クリックして、[Privacy Zone (プライバシージーン)] メニュー項目に戻ります。

4つのプライバシージーン



- [Channel (チャンネル)]: ドロップダウンメニューからプライバシージーンを作成する場所を選択します。
- [Privacy Zone (プライバシージーン)]: 使用するためにその機能を有効化する必要があります。
- [Area Setup (エリア設定)]: いくつのプライバシージーンを設定するかを決定し、対応するチェックボックスにチェックを入れます。エリアの最大数は4です。4つのプライバシージーンを定義する場合は、すべてのチェックボックスにチェックを入れます。



- [Privacy Zone (プライバシージーン)]: [Setup (設定)] をクリックして、フルスクリーンモードでチャンネルを開き、プライバシージーンのマークを開始します。[Area Setup (エリア設定)] で選択したエリア数に応じて、チャンネル表示上に赤線の長方形でカバーされたエリアが表示されます。エリアのマークを完了後、右クリックしてメインメニューに戻ります。チャンネル表示上に「ブラックエリア」が表示されます。

注意:

- プライバシージーンは、ビデオファイル上と同様にチャンネルライブ映像上に表示されません。ライブ映像表示およびビデオファイル上に黒色ボックスでカバーされたプライバシージーンが表示されます。
- プライバシージーンは、特定のチャンネルに対してのみ有効です。同じ設定を他のチャンネルにコピーする場合は、[Copy (コピー)] 機能を使用します。

Record: REC Para (録画:録画パラメーター)



録画パラメーターメニューで、チャンネルごとの録画を有効または無効にして、プレ録画条件を設定することができます。

- [Channel (チャンネル)]: 録画パラメーターを設定するチャンネルを選択します。
- [Record (録画)]: [Record (録画)]が有効である場合、選択したチャンネルからのビデオはHDDに録画されます。
- [Stream Mode (ストリームモード)]: 録画解像度を選択します。使用可能なオプションは、[Mainstream (録画ストリーム)] (HD解像度) および [Substream (リモートストリーム)] (VGA解像度) です。ストリームパラメーターを設定する場合は、55ページの「Network: MainStream (ネットワーク:メインストリーム)」および55ページの「Network: SubStream (ネットワーク:サブストリーム)」を参照してください。
- [PreRecord (事前録画)]: イベントにトリガーされた場合のみ録画するように設定することができます。この機能を使って、NVRは、重要な詳細を失わないよう、イベントが発生する前の録画を開始します。

Record: Schedule (録画:スケジュール)

ノーマル録画/モーション契機の録画は、設定されたスケジュールに応じてのみ実施されます。正しく設定されていない場合、結果は重要なビデオカバレッジを失うことにつながる可能性があります。スケジュールを設定後、[REC Para (録画パラメーター)] メニューでチャンネルに対する録画を有効化していることを確認してください。46ページの「Record: REC Para (録画:録画パラメーター)」をご参照ください。

録画スケジュールを使うことで、ノーマル (連続) 録画およびモーション録画によって毎日および毎時スケジュールを設定することができます。



デフォルトでは、接続されたすべてのチャンネルに対する録画モードは、[Normal (標準)] に設定されます。これは、NVRが一日当たり24時間連続的に録画し、重要なハプニングを見逃さないことを保証します。しかし、欠点は、HDDスペースが非常に速く一杯になることです。

- [Channel (チャンネル)]: スケジュールを適用するチャンネルを選択します。
- [Normal Recording (ノーマル録画)]: タイムスロットが青色の場合、そのタイムスロットではチャンネルはノーマル録画を行っていることを意味します。指定した日に全24時間録画しない場合、青色のスロットをクリックして選択解除します。スロットがグレーに変わり、その時間に対して録画が行われないことを意味します。
- [Motion Recording (モーション録画)]: タイムスロットが緑色の場合、そのタイムスロットでは、チャンネルは動作が検出された場合のみ録画します。
このタイプの録画を使用することを推奨します。モーション録画は、動きが検出されたのみ録画がトリガーされることを意味します。
モーション感知を使用するために、アラームメニューでモーション設定を有効化・設定しなければなりません。60ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」をご参照ください。

特定日におけるモーション録画スケジュールを変更する場合は、緑色のスロットをクリックして選択解除します。スロットがグレーに変わり、その時間に対してモーション録画が行われないことを意味します。

注意: グレーにマークされた時間スロットは、この時間に対してスケジュールされた録画がないことを意味します。

Search: Record Search (検索: 録画検索)



録画検索メニューで、録画タイプ (アラーム/ノーマル)、チャンネル、日付および時刻パラメーターに基づいて録画されたビデオを検索・再生することができます。

- [Channel (チャンネル)]: 録画を再生するチャンネルを選択する、または、デフォルトの [All (すべて)] を維持します。[All (すべて)] は、指定した日付および時刻に対して、すべてのチャンネル上で録画を検索することを意味します。
- [Type (タイプ)]: 録画タイプを選択します。使用可能なオプションは、すべてのタイプ、ノーマル、または、アラーム録画です。
- [Search Date (検索日付)]: 録画されたビデオを検索する月と年を指定します。[Search (検索)] をクリックして、その日の録画を検索します。結果がカレンダーに表示されます。
- [Start Time/End Time (開始時間/終了時間)]: カレンダーで日をクリックし、再生で確認する映像の開始時刻と終了時刻を指定します。その後、[Play Back (再生)] をクリックします。再生画面が開きます。

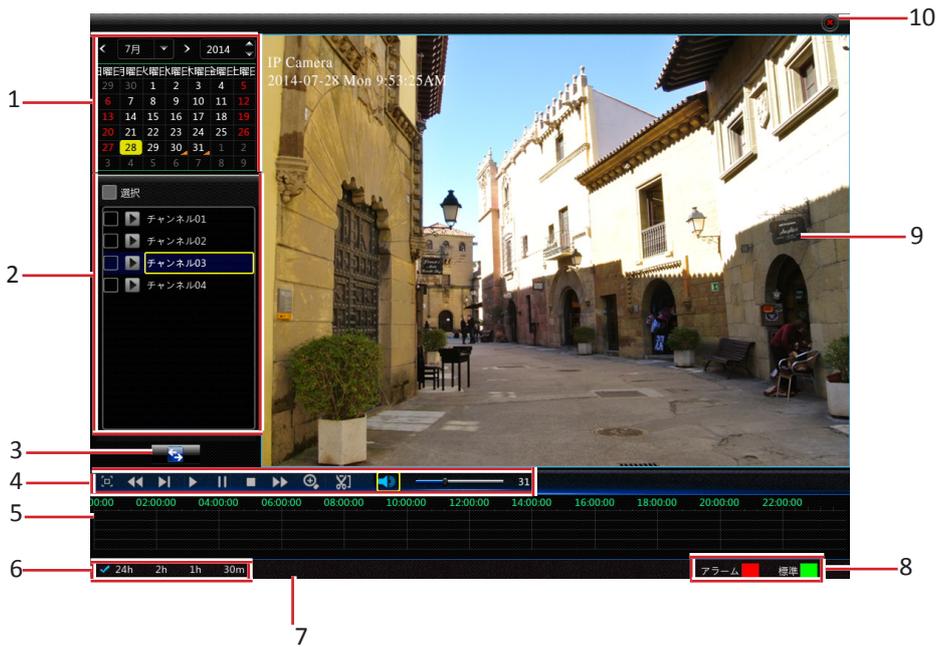
注意:

- 小さいオレンジ色の三角形のマークのついた日付は、録画が行われた日を示します。
- 特定日に録画のあるチャンネルがチャンネル表示に表示されます。再生で表示しないチャンネルのチェックを外します。



再生画面

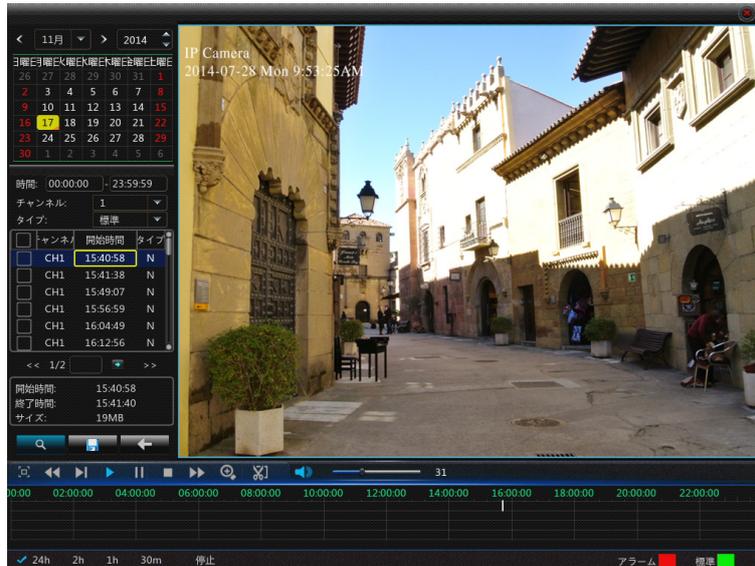
日本語



番号	項目	説明
1	日付の設定	<ul style="list-style-type: none"> • 必要があれば、再生の月と年を変更します。 • 日を選択します。
2	チャンネル	チャンネルを選択します。
3	スイッチ	をクリックしてバックアップモードに切り替えます。49ページの「ビデオのバックアップ」を参照してください。
4	再生コントロール	再生中に以下のいずれかをクリックします： <ul style="list-style-type: none"> • : 録画を全画面で表示します。 • : 繰り返しクリックして、スピードx2/x4/x8/x16で巻き戻します。 • : 繰り返しクリックして、スピードx1/2、x1/4、x1/8、x1/16で早送りします。 • : 録画をノーマルスピードで再生します。 • : 再生を一時停止します。 • : 再生を停止します。 • : 繰り返しクリックして、スピードx2/x4/x8/x16で早送りします。 • : ズームインします。 • / : ビデオをトリミングします。50ページの「ビデオのトリミング」を参照してください。 • : 音声をOFFまたはONにします。 注意：オーディオ機能は、ICB-100カメラを用いる場合のみ利用可能です。 <ul style="list-style-type: none"> • 50 : 再生音量を調整します。
5	時間バー	再生時間バー。
6	時間フレーム	再生に対する時間フレームを選択します。利用可能なオプションは、24時間/2時間/1時間/30分間です。
7	ステータスバー	再生関連の動作を表示します。例えば、再生、停止、>> x2などです。
8	録画インジケーター	ノーマル録画は緑色、アラーム録画は赤色で表示されます。
9	ビデオディスプレイ	ここで、選択された映像が表示されます。
10	終了	をクリックして再生画面を終了します。

ビデオのバックアップ

録画をUSBストレージデバイスに保存するために、再生画面で  をクリックして、バックアップ目的の一覧として、特定日の全録画を表示します。



録画を検索するための日付と時刻を設定します。特定日をクリックし、 をクリックします。その日の録画が一覧として表示されます。再生する録画をダブルクリックします。確認せず、直ちにバックアップ手順を開始する場合は、録画を選択し、直接  アイコンをクリックします。バックアップ画面(「ディレクトリを選択してください...」)が開きます。

注意: USBストレージデバイスをNVRに接続していることを確認してください。



左カラム上でストレージデバイスをクリックし、録画を保存するためにストレージデバイス上のディレクトリを選択します。その後、ビデオ形式(H.264またはAVI)を選択し、[OK]をクリックします。画面上に「バックアップ成功!」メッセージが表示されるまで待機します。

重要: ファイル転送が進行中の時はUSBストレージデバイスを取り外さないでください。



注意:

- H.264形式を選択した場合、PC上にバックアップしたビデオを再生するには、付属CDからビデオプレーヤーをインストールする必要があります。
- AVI形式を選択している場合、PC上にバックアップしたビデオを再生するために任意のビデオプレーヤーを使用することができます。
- USBストレージデバイスをフォーマットする必要がある場合は、[Format (フォーマット)] をクリックしてください。
- バックアップ画面上で、 をクリックして一つ上のディレクトリに移動し、 をクリックして新しいディレクトリを作成し、あるいは、 をクリックしてディレクトリを削除します。

ビデオのトリミング

安全に保管するため、または、証拠目的のためにビデオのセクションをバックアップする場合、この機能を使用します。USBストレージデバイスをNVRのUSBポートに接続し、映像を検索・再生します。ダブルクリックして、チャンネルを全画面に表示して、ビデオを再生中に  をクリックします。トリミングを停止するには、 をクリックします。

注意:ビデオのトリミングは、NVRのHDD上に保存されたビデオを変更しません。これは、外部ストレージデバイス上にエクスポートするビデオの時間を決定するだけです。

トリミングの選択の例



トリミング停止後、バックアップ画面(「ディレクトリを選択してください...」)が開きます。映像を保存するディレクトリを選択します。



左カラム上でストレージデバイスをクリックし、録画を保存するためにストレージデバイス上のディレクトリを選択します。その後、ビデオ形式(H.264またはAVI)を選択し、[OK] をクリックします。画面上に「バックアップ成功!」メッセージが表示されるまで待機します。

重要:転送が進行中の時はUSBデバイスを取り外さないでください。



注意:

- H.264形式を選択した場合、PC上にバックアップしたビデオを再生するには、付属CDからビデオプレーヤーをインストールする必要があります。
- AVI形式を選択している場合、PC上にバックアップしたビデオを再生するために任意のビデオプレーヤーを使用することができます。
- USBストレージデバイスをフォーマットする必要がある場合は、[Format (フォーマット)] をクリックしてください。
- バックアップ画面上で、 をクリックして一つ上のディレクトリに移動し、 をクリックして新しいディレクトリを作成し、あるいは、 をクリックしてディレクトリを削除します。

Search: Event Search (検索: イベント検索)



イベント検索メニューは、NVRによりトリガーされた録画を表示します。例えば、デフォルトの連続録画を使用している場合、ほとんどすべての「イベント」がノーマルタイプ録画になります。

- **[Search Date (検索日付)]**: クリックして、イベントを検索する日付を指定します。
- **[Search Time (検索時刻)]**: クリックして、イベントを検索するための開始時刻と終了時刻を指定します。
- **[Channel (チャンネル)]**: 検索するチャンネルを選択する、あるいは、すべてのチャンネルを選択するために **[All (すべて)]** を選択します。
- **[Type (タイプ)]**: 検索する録画のタイプを **[All (すべて)]**、**[Normal (ノーマル)]** または **[Alarm (アラーム)]** から選択し、**[Search (検索)]** をクリックします。録画が表にリストされます。イベントをバックアップする、または、イベントを再生します。全イベントをバックアップするために、**[Quick Backup (クイックバックアップ)]** をクリックします。個別のイベントをバックアップするには、最初にイベントを選択し、その後、**[Backup (バックアップ)]** をクリックします。バックアップ画面が開きます。詳細は、49ページの「ビデオのバックアップ」を参照してください。イベントを再生するには、イベントをダブルクリックします。再生画面が開きます。詳細は、48ページの「再生画面」を参照してください。

Search: Log Search (検索: ログ検索)

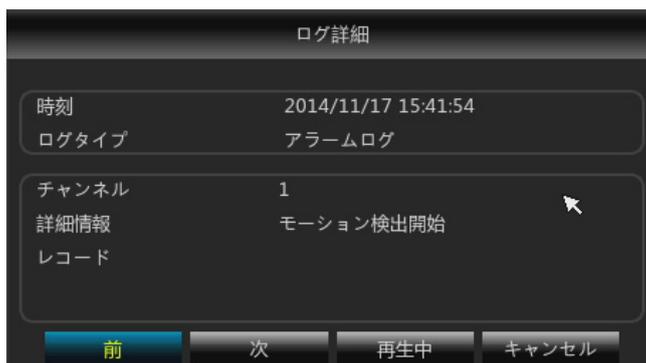
[Log (ログ)] メニューには、イベントに一覧が時系列順: 最新のイベントが一覧の最後に表示されます。**[Log (ログ)]** は、NVRが監視したすべてのイベントを一覧表示します。



- **[Start Time/End Time (開始時間/終了時間)]**: 確認および/または外部USBストレージデバイス上に保存するログの開始および終了日付/時刻を指定します。**[Search (検索)]** をクリックします。ログが表にリストされます。
- **[Log Type (ログタイプ)]**: ログタイプを **[All (すべて)]**、**[System (システム)]**、**[Config (設定)]**、**[Alarm (アラーム)]**、**[Account (アカウント)]**、**[Record (録画)]** または **[Storage (ストレージ)]** から選択します。

MARSホームNVRコンボキット:NVRの操作

注意: ログをダブルクリックして、詳細、前のログ、次のログを参照し、アラームログを再生します。再生に関する詳細情報については、48ページの「再生画面」を参照してください。



注意: ログをバックアップするには、[Backup (バックアップ)] をクリックします。バックアップ画面が開きます。



左カラム上でストレージデバイスをクリックし、ログを保存するためにストレージデバイス上のディレクトリを選択します。[OK] をクリックして、画面上に「バックアップ成功!」メッセージが表示されるまで待機します。

重要: ファイル転送が進行中の時はUSBストレージデバイスを取り外さないでください。

注意:

- USBストレージデバイスをフォーマットする必要がある場合は、[Format (フォーマット)] をクリックしてください。
- バックアップ画面上で、🔍 をクリックしてディレクトリ内で移動し、📁 をクリックして新しいディレクトリを作成し、あるいは、🗑️ をクリックしてディレクトリを削除します。

Network: Network (ネットワーク:ネットワーク)

スマートフォン/タブレット/PCを使って、リモート監視、Dropbox/Googleドライブへの写真/ビデオのアップロード、メールの送信などを行う場合は、ネットワーク設定を完了してください。

最も一般的なタイプは、**DHCP** または **[Static (固定)]** です。ネットワークが手動でアドレス指定 (通常、と呼**[Static (固定)]**) されていない限り、おそらくネットワークタイプは、**DHCP** です。インターネットに対する認証用ユーザー名とパスワードが必要な場合は、**PPPoE** を選択してください。

注意: ネットワークタイプが不明である場合は、ISP (インターネットサービスプロバイダ) にお問い合わせください。

DHCP接続

The screenshot shows the 'Network' configuration page with the 'DHCP' option selected. The settings are as follows:

Field	Value
クライアントポート	09000
HTTPポート	00080
IPアドレス	10.0.100.187
サブネットマスク	255.255.0.0
ゲートウェイ	10.0.0.254
DNS1	10.0.0.251
DNS2	0.0.0.0
UPNP	無効

Buttons at the bottom: デフォルト, 適用, 終了

固定接続

The screenshot shows the 'Network' configuration page with the 'Static' option selected. The settings are as follows:

Field	Value
クライアントポート	09000
HTTPポート	00080
IPアドレス	010.000.100.187
サブネットマスク	255.255.000.000
ゲートウェイ	010.000.000.254
DNS1	010.000.000.251
DNS2	000.000.000.000
UPNP	無効

Buttons at the bottom: デフォルト, 適用, 終了



- [Type(タイプ)]**: 使用しているネットワークタイプを選択します。

DHCPタイプ: このタイプを選択する場合、ネットワーク設定は自動的に入力されます。

固定タイプ: 必須のネットワーク設定を入力するために、ISP (インターネットサービスプロバイダ) に問い合わせてください。

PPPoEタイプ: 必須のネットワーク設定を入力するために、ISP (インターネットサービスプロバイダ) に問い合わせてください。

注意: ネットワーク接続タイプまたはネットワーク設定で不明な点がある場合は、必ずISPにお問い合わせください。
- [Client Port(クライアントポート)]**: NVRが情報を送信するために使用するポートです。UPnP機能を使用する場合 (ルーターがUPnPをサポートする場合、ルーターからNVRに対して手動でポート転送を行う必要はありません)、設定することが重要です。ポートはユニークでなければなりません。デフォルトポート9000を使用し、それが他のデバイスまたはアプリケーションで既に使用されている場合は、ポートを変更してください。そして、リモートでNVR (Webクライアント) にログインするために、それを使用する必要があることを忘れないでください。この設定は高度なユーザー向けです。
- [HTTP Port (HTTPポート)]**: NVRにログインするために使用するポートです (例えば、Webクライアントで使用します)。ポートはユニークでなければなりません。デフォルトポート80を使用し、それが既に他のアプリケーションにより使用されている場合、例えば85にポートを変更してください。この場合、IPアドレスの後にポート番号を追加する必要があります。例えば、固定IPアドレスを使用している場合、Webクライアントにログインする際、URLボックスに「010.000.100.187:85」としてIPアドレスを入力する必要があります。
- [IP Address(IPアドレス)]**: IPアドレスは、ネットワーク内でNVRを識別します。IPアドレスは、ピリオドで区切られた0から255の4つのグループの数字で構成されます。例えば、「010.000.100.187」です。ネットワークタイプが、**[Static (固定)]** であり、IPアドレスが不明である場合は、ISPにお問い合わせください。
- [Subnet Mask(サブネットマスク)]**: サブネットマスクは、ネットワークで使用できるIPアドレスの範囲を定義します。IPアドレスがあなたが住んでいる通りである場合、サブネットマスクは近所のようなものです。サブネットマスクは、ピリオドで区切られる4つのグループの数字で構成されます。例えば、「255.255.000.000」です。ネットワークタイプが、**[Static (固定)]** であり、サブネットマスクが不明である場合は、ISPにお問い合わせください。
- [Gateway(ゲートウェイ)]**: このアドレスにより、NVRのインターネットへのアクセスを許可します。**[Gateway (ゲートウェイ)]** アドレスの形式は、**[IP Address (IPアドレス)]** の形式と同じです。例えば、「010.000.000.254」です。ネットワークタイプが、**[Static (固定)]** であり、ゲートウェイが不明である場合は、ISPにお問い合わせください。
- DNS1/DNS2**: DNSは、ドメイン名システムを表しており、ここで、**DNS1**はメインDNSサーバー、**DNS2**は、**DNS1**にアクセスできない場合のバックアップサーバーです。メール通知、NTPまたはDDNSなどを使用する場合は、DNSサーバー設定を適切に行う必要があります。DNSアドレスが不明である場合は、ISPにお問い合わせください。
- UPNP**: Webクライアントにリモートでアクセスする必要がある場合は、ポート転送を完了する必要があります。ルーターがUPnPをサポートする場合は、このオプションを有効化します。UPnPをNVRとルーターの両方で有効化する必要があります。この場合は、ルーター上で手動でポート転送を設定する必要はありません。

注意: ルーターがUPnPをサポートしていない場合は、ポート転送が手動で完了していることを確認してください。<http://portforward.com/kguard>でカスタマイズされた無料ガイドを参照してください。

Network: MainStream (ネットワーク:メインストリーム)

このメニューで、録画ストリームのパラメーターを設定することができます。これらのパラメーターは、NVRの録画解像度を定義します。



- [Channel (チャンネル)]: 設定を適用するチャンネルを選択します。
- [Resolution (解像度)]: 録画解像度を選択します。使用可能なオプションは、1280 x 720または1280 x 960です。
- FPS: NVRに1秒間当たり何枚の画像を記録するかを選択します。最高値は、30 FPS (60Hz) または 25 FPS (50Hz) です。
- [Bitrate Mode (ビットレートモード)]: ビットレートを自分自身で設定する場合は、ユーザー定義モードを選択してください。事前定義されたビットレートを選択する場合は、事前定義モードを選択してください。
- [Bitrate (ビットレート)]: ビットレートが高くなればビデオ品質は向上しますが、ディスク上のファイルサイズが大きくなります。
- [Audio (音声)]: ボックスにチェックを入れて、チャンネルに対する音声を有効化します。
注意: オーディオ機能は、ICB-100カメラを用いる場合のみサポートされます。

Network: SubStream (ネットワーク:サブストリーム)

このメニューで、リモートストリームのパラメーターを設定することができます。これらのパラメーターは、PC (例えば、Webクライアント) を経由して、インターネット上で画像がどのように表示されるかを定義します。デフォルトでは、録画ストリームよりも非常に低い品質になっています。



- [Channel (チャンネル)]: 設定を適用するチャンネルを選択します。
- [Resolution (解像度)]: デフォルト画面解像度 (640 x 480)。
- FPS: リモートでチャンネルを表示する際、1秒間にいくつの画像を転送するかを選択します。最高値は、30 FPS (60Hz) または 25 FPS (50Hz) です。

- **[Bitrate Mode (ビットレートモード)]**: ビットレートを自分自身で設定する場合は、ユーザー定義モードを選択してください。事前定義されたビットレートを選択する場合は、事前定義モードを選択してください。
- **[Bitrate (ビットレート)]**: ビットレートが高くなればビデオ品質は向上しますが、ディスク上のファイルサイズが大きくなります。
- **[Audio (音声)]**: ボックスにチェックを入れて、チャンネルに対する音声を有効化します。
注意: オーディオ機能は、ICB-100カメラを用いる場合のみサポートされます。

Network: Email (ネットワーク:メール)

モーションが検出された時、HDDが一杯になった時、ビデオ喪失が発生した時、通知メールを受信する場合は、メール設定を完了してください。



- **[Email (メール)]**: イベント発生時にNVRが通知メールを送信できるようにメール機能を有効化する必要があります。
- **SSL**: メールサーバーがSSL証明書を必要とする場合、有効化します。不明な場合は、メールサービスプロバイダに相談してください。例えば、Gmailを使用している場合、このオプションを有効化する必要があります。
- **[SMTP Port (SMTPポート)]**: メールサーバーのSMTPポートを入力します。例えば、Gmailを使用している場合、SMTPポートは465です。
- **[SMTP Server (SMTPサーバー)]**: メールSMTPサーバーアドレスを入力します。
- **[Sender (送信者)]**: メールアドレスを入力します。
- **[Sender Password (送信者パスワード)]**: メールパスワードを入力します。
- **[Receiver (受信者)]**: NVRからのイベント通知を受信するメールアドレスを入力します。
- **[Interval (送信間隔)]**: NVRからの通知メール間の時間間隔の長さを設定します。送信間隔を例えば3分に設定し、メールイベントの**メールスケジュール**を設定せず、メールボックスサイズに制限がある場合、メールボックスが非常に速く一杯になる可能性があります。このような場合、NVRからの新しい通知を見逃す可能性があります。メール設定をテストする場合は、**[Test (テスト)]** をクリックします。
- **[Email Schedule (メールスケジュール)]**: 便利のように、通知を受けるイベントのタイプおよびいつ受けるかのスケジュールを定義することができます。スケジュールを設定するには、**[EmailSchedule (メールスケジュール)]** をクリックします。

メールスケジュール:



- **[Channel (チャンネル)]**: メールスケジュールを適用するチャンネルを選択します。
- **[Motion-Based Notification (モーションベースの通知)]**: タイムスロットが青色の場合、そのタイムスロットでは、システムはモーションが検出された場合のみメールを送信します。モーション感知を使用するために、アラームメニューでモーション設定を有効化・設定しなければなりません。
60ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」をご参照ください。モーションが検出された時、システムからメールを受信しない場合は、青色スロットをクリックして選択解除してください。タイムスロットがグレーに変わり、このタイムスロット中にモーションが検出された時、システムはメールを送信しないことを示します。
- **[Event-Based Notifications (イベントベースの通知)]**: タイムスロットが赤色の場合、そのタイムスロットでは、システムはイベントが登録された場合にメールを送信します。例えば、HDDが一杯になった時です。イベントが登録された時、システムからメールを受信しない場合は、赤色スロットをクリックして選択解除してください。タイムスロットがグレーに変わり、このタイムスロット中にイベントが登録された時、システムはメールを送信しないことを示します。

注意: [Return (戻る)] をクリックして、メール設定画面に戻ります。

Network: DDNS (ネットワーク: DDNS)



MARSホームNVRコンボキット:NVRの操作

DDNS設定を行う必要がある理由は、IPアドレスがDHCPサーバーにより割り当てられるネットワークにNVRを接続するためです (54ページの「[Type(タイプ)]:使用しているネットワークタイプを選択します。」を参照)。この場合、NVRを起動するたびにIPアドレスは変わります。動的IPアドレスは、PCを経由してNVRに接続する場合の問題です (75ページの「Webクライアントを経由するリモートアクセス」を参照)。解決策として、DDNS (ダイナミックDNS) サービスを使用します。DDNSは、NVRへのリモート接続を簡略化するために固定アドレスを提供します。DDNSを使用するために、最初にDDNSサービスプロバイダのWebページ上にアカウントを開く必要があります。例えば、KGUARD.ORGの場合:<http://www.kguard.org>を設定するには:

- **DDNS**: DDNSサービスを有効化します。
- **[Server (サーバー)]**: ご希望のDDNSサーバーを選択します。使用可能なオプションは、**KGUARD.ORG (推奨)**、**DDNS_3322**、**DYNDNS**、**CHANGEIP**、**DNSEXIT**です。
注意: DDNSアカウントをお持ちでない場合は、DDNSサービスプロバイダのWebページ上で作成する必要があります。
- **[Domain (ドメイン)]**: DDNSサービスプロバイダのWebページ上で作成したドメイン名を入力します。例えば、myNVR4.kguard.orgです。これは、PCを経由してNVRにリモートで接続する際、URLボックスに入力するアドレスです。
- **[User/Password (ユーザー/パスワード)]**: DDNSサービスプロバイダのWebページ上でアカウントを作成する際取得したユーザー名とパスワードを入力します。例えば、KGUARD.ORGのユーザー名の場合、ユーザーはKGUARD.ORG Webページ上でアカウントを作成する際使用したメールアドレスです。

注意:

- NVRのネットワーク設定を完了していることを確認してください。
- **[Test (テスト)]** をクリックして、DDNS設定をテストします。KGUARD.ORG (<http://www.kguard.org>) 上のドメイン名を適用するために、以下を行います:

The screenshot shows the KGUARD SECURITY website interface. At the top, there is a blue header with the KGUARD SECURITY logo. Below the header, there are two buttons: 'Logon' and 'Registration'. To the right of these buttons, it says 'Welcome to kguard.org' and 'Create a user account or choose existing users below to begin.' Below this, there is a section titled 'DDNS account creation.' which contains a 'NEW USER REGISTRATION' form. The form has the following fields: EMAIL ADDRESS, PASSWORD, PASSWORD CONFIRM, FIRST NAME, LAST NAME, SECURITY QUESTION. (with a dropdown menu showing 'My first phone number.'), ANSWER, and a CAPTCHA section with the text '5+4=' and 'Solve the problem above.' There are 'Submit' and 'Reset' buttons at the bottom of the form. Below the form, it says 'Already have an account? Click here to logon.' At the bottom of the page, it says 'All Rights Reserved © 2010 kguard.org'.

その後、NVRに対するドメイン名を入力します。例えば、「MyNVR4」です。

KGUARD SECURITY

User Settings Domains Logout

Domain Name Creation

Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9). Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

MyNVR4 .kguard.org Request Domain

All Rights Reserved © 2010 kguard.org

ドメイン名登録に成功すると、次の画面にドメイン名とその状態が表示されます。

KGUARD SECURITY

User Settings Domains Logout

My Domains

Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. Search

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
MYNVR4	OK	mynvr4.kguard.org

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 59.124.236.104

Create additional domain names [1]

Download our automated IP update software for Windows.
 Download ddclient a free Perl based IP updater for Linux/Unix systems.
 A sample configuration file can be found here.

All Rights Reserved © 2010 kguard.org

注意: ドメイン名を登録し、NVR上のDDNS設定を完了した後、ドメイン名を通して、NVRをネットワーク上で識別することができます。例えば、**Webクライアント**を使用して、NVRにドメイン名myNVR4.kguard.orgを割り当て、NVRにリモートでアクセスする場合です。PC上でWebブラウザを開き、URLフィールドにNVRのIPアドレスを入力する代わりに、myNVR4.kguard.orgと入力し、[Enter]を押すと、NVRのログインページが開きます。NVRのポート転送およびネットワーク設定を完了していることを確認してください。53ページの「Network: Network (ネットワーク: ネットワーク)」を参照してください。

Network: Switch (ネットワーク:スイッチ) (MARSホームNVRではサポートされません)

ネットワークとIPカメラで競合が発生した場合、ネットワークスイッチ設定を行う必要があります。



- [IP Address (IPアドレス)]: ネットワークカメラのIPアドレスを入力します。
- [Subnet Mask (サブネットマスク)]: ネットワークカメラ接続に対するサブネットマスクを入力します。
- [Gateway (ゲートウェイ)]: ネットワークカメラ接続に対するゲートウェイを入力します。
- [Switch Mode (モードの切替)]: モードの切替を選択します。自動的にネットワークモード切替に切り替える場合は、[Auto Mode (自動モード)] を選択します。手動でネットワークモード切替に切り替える場合は、[Manual Mode (手動モード)] を選択します。

Alarm: Motion (アラーム:モーション)



モーション感知について

NVRはフレームを別なフレームと比較することによりモーションを検出します。十分な量の差異がモーションとして解釈されます。その結果、NVRは、画像に変化があることを検出し、録画を開始することができます。

モーション検出エリアの設定

デフォルトでは、全画面がモーション検出用にマークされます (赤色ブロック)。エリア上のモーション検出を無効にする場合は、グリッドカーソルをクリックし、マウスをドラッグして、スコープをハイライトさせ、モーション検出用のエリアのマークを外す (透明ブロック) 必要があります。

モーションエリアの設定



- **[Channel (チャンネル)]**: モーション検出を設定するチャンネルを選択します。
- **[Enable (有効)]**: チャンネルに対するモーション検出を有効化します。
- **[Sensitivity (感度)]**: モーション検出の適切な感度レベルを設定することは非常に重要です。最高の感度レベルを見つけるために、機能をテストします。例えば、正常または低照明条件において (昼間および夜間)、どのようにモーションイベントがトリガーされるかを確認します。モーション検出を高感度レベル (「8」が最高感度) に設定した場合、障害アラームイベントに頻度が増大します。逆に、感度レベルが低すぎる場合 (「1」が最低感度)、重大なモーションイベントがモーション検出をトリガーせず録画されないリスクが高まる可能性があります。
- **[Area (エリア)]**: **[Setup (設定)]** をクリックしてモーションエリアを定義します。上のを参照してください。
- **[Buzzer (ブザー)]**: NVRは、その内部ブザーを使って、アラームを鳴らすことができます。デフォルトでは、この機能は**[Disabled (無効)]**になっていますが、必要な場合、モーションが検出された場合もブザー時間を秒単位で設定することができます。
- **[Post Recording (遅延記録)]**: イベント発生後、NVRが録画を継続する時間を設定することができます。推奨される録画時間は30秒間ですが、最高、5分間を設定することができます。
- **[Show Message (ショーメッセージ)]**: ボックスにチェックを入れて、モーションが検出された時、**[M]** アイコンを画面上に表示させます。
- **[Send Email (メールの送信)]**: モーションが検出された時、NVRの自動メールを送信させることができます。メールスケジュールを設定するには、56ページの「**Network: Email (ネットワーク: メール)**」を参照してください。
- **[Full Screen (全画面)]**: この機能を有効にしてモーションが検出された場合、関連するチャンネルが全画面に表示されます。
- **[Record Channel (録画チャンネル)]**: 録画を有効にするボックスにチェックを入れ、モーション検出された際に

録画するチャンネルを選択します。

Device: HDD (デバイス:HDD)

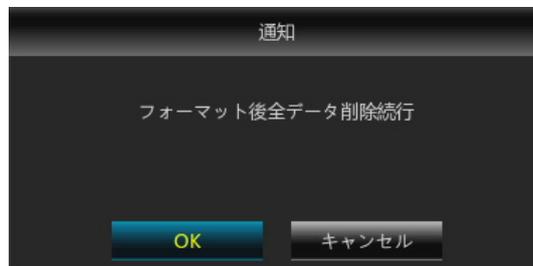


このメニューで、NVRが録画を保存するために使用する内部HDDを表示・設定することができます。HDDに関連する状態、空/合計スペースおよび空き録画時間情報を参照します。

初めてNVRを起動する場合は、HDDをフォーマットする必要があります。

注意: 以前のデータを削除しない場合、データが既に存在するHDDをフォーマットしないようにしてください。

- **[Format HDD (HDDのフォーマット)]:** 最初にフォーマットするHDDを選択する必要があります。**[Select (選択)]** チェックボックスにチェックを入れます。画面上にフォーマット後にディスク上の全データが削除される旨の確認を求める警告メッセージが表示されます。**[OK]** をクリックします。



HDDがフォーマットされるまで待機します。例えば、500GB HDDのフォーマットには、約1~2分かかります。フォーマットが完了すると、画面上に通知が表示されます。**[OK]** をクリックします。



- **[Overwrite (上書き)]:** このオプションを使用すると、HDDが一杯になった場合、HDD上の古い録画が上書きされます。例えば、7日間のオプションを選択した場合、最新の7日間の録画のみがHDD上に保持されます。古い

録画の上書きを回避するには、[Disable (無効)] を選択します。この機能を無効にしている場合は、HDDの状態を定期的に確認して、HDDが一杯になっていないことを確認してください。

Device: Cloud Storage (デバイス:クラウドストレージ)

この機能により、ユーザーは、インターネットを通して、いつでも、どこからでもカメラサイトで何が起きているかを参照することができます。時間間隔に基づいて、または、モーションが検出された場合にスナップショットをアップロードすることができます。設定されたスケジュール内にモーションが検出された場合のみビデオのアップロードが行われます。NVRは、GoogleドライブおよびDropboxクラウドサービスをサポートします。

クラウドストレージの設定の詳細については、32ページの「クラウドストレージの使用」を参照してください。

Googleドライブ



- [Cloud Storage (クラウドストレージ)]: クラウド設定を行います。
- [Cloud Type (クラウドタイプ)]: 一覧から、[Google Drive (Googleドライブ)] を選択します。
- [Driver Name (ドライブ名)]: NVRに対するクラウドストレージ名を入力します。KGuardクラウドアップローダーをGoogleドライブに接続する際、[Drive Name (ドライブ名)] は、KGuardがスナップショットおよび/またはビデオをアップロードするフォルダとして使用されます。
- [Gmail Account (Gmailアカウント)]: Gmailアカウントを以下の形式<username>@gmail.comで入力します。例えば、kguard@gmail.comです。
- [Gmail Password (Gmailパスワード)]: Gmailアカウントのパスワードを入力します。
- [Cloud Version (クラウドのバージョン)]: 現在のクラウドストレージのサービスバージョン。
- [Cloud State (クラウドの状態)]: 仮想ドライブに対する接続状態を表示します。

[Apply (適用)] をクリックして設定を保存します。その後、写真/ビデオのアップロード設定を続行します。

- [Upload Photo (写真のアップロード)]: カメラから写真をアップロードする場合は、有効化し、[Setup (設定)] をクリックします。



チャンネル: Googleドライブにアップロードする写真のチャンネルを選択します。

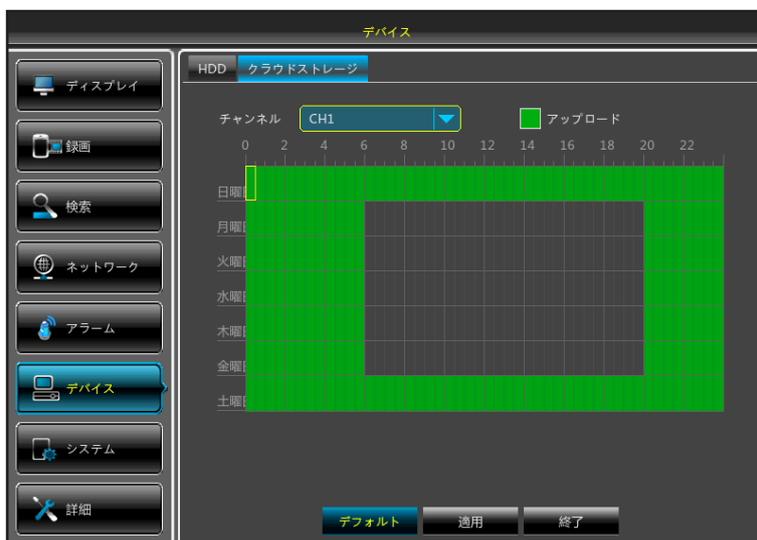
送信間隔: 写真のアップロード送信間隔を設定します。

モーション感知: カメラがモーションを検出した時、Googleドライブに写真をアップロードする場合、有効化します。モーションエリアを設定していない場合は、[Motion Setup (モーション設定)] をクリックします。60ページの「Alarm: Motion (アラーム: モーション)」を参照してください。

注意: 設定した送信間隔またはモーションが検出された場合に写真がアップロードされます。

[Apply (適用)] をクリックして、[Upload Photos (写真のアップロード)] に対する設定を保存します。

- [Upload Video (ビデオのアップロード)]: モーションが検出された時、カメラからビデオをアップロードする場合は、有効化し、[Setup (設定)] をクリックします。



チャンネル: Googleドライブにアップロードするビデオのチャンネルを選択します。日付/時刻スロットに緑色のマークが付いている場合、これは、指定された日/時間の中にモーションが検出され、Googleドライブにビデオがアップロードされたことを意味します。

注意:

- ビデオをアップロードする一つのチャンネルのみを選択することができます。
- 1時間の間に、システムは最大3件の映像をアップロードします。
- アップロードされる映像の最大の期間は10秒間です。

[Apply (適用)] をクリックして、[Upload Video (ビデオアップロード)] に対する設定を保存します。

すべての設定を完了した後、[Cloud Storage (クラウドストレージ)] メニューで、[Apply (適用)] をクリックします。

ヒント: 画面の下の接続状態を参照します。例えば、正常接続の通知:

The certification of Google Drive is completed.

Dropbox



- **[Cloud Storage (クラウドストレージ)]**:クラウド設定を行います。
- **[Cloud Type (クラウドタイプ)]**:一覧から **[Dropbox]** を選択します。
- **[Driver Name (ドライブ名)]**:NVRに対するクラウドストレージ名を入力します。KGuardクラウドアップローダーをDropboxに接続する際、**[Drive Name (ドライブ名)]** は、KGuardがスナップショットおよび/またはビデオをアップロードするフォルダとして使用されます。
- **[Receiver (受信者)]**:Dropboxアカウントに関連付けられたメールアドレスを入力します。NVRは、DropboxへのNVRの接続の受入れを確認するためにこのメールアドレスに有効化メールを送信します。
- **[Cloud Version (クラウドのバージョン)]**:現在のクラウドストレージのサービスバージョン。
- **[Cloud State (クラウドの状態)]**:仮想ドライブに対する接続状態を表示します。

[Apply (適用)] をクリックして設定を保存します。その後、写真/ビデオのアップロード設定を続行します。

- **[Upload Photo (写真のアップロード)]**:カメラから写真をアップロードする場合は、有効化し、**[Setup (設定)]** をクリックします。



チャンネル:Dropboxにアップロードする写真のチャンネルを選択します。

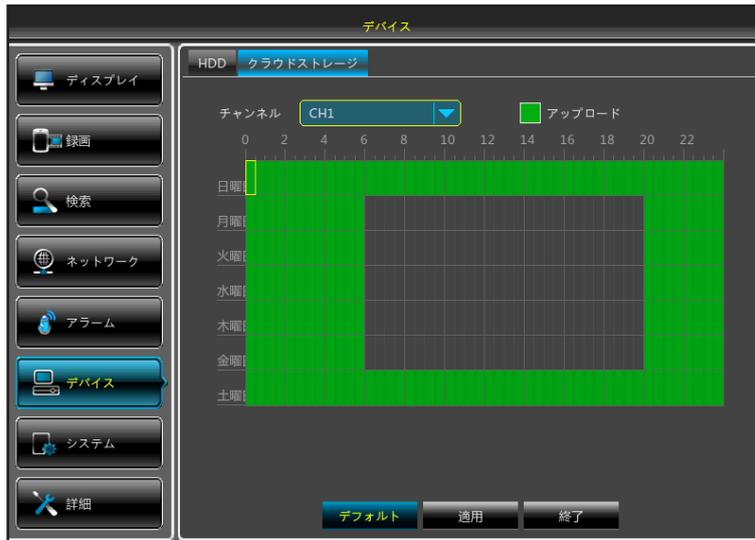
送信間隔:写真のアップロード送信間隔を設定します。

モーション感知:カメラがモーションを検出した時、Dropboxに写真をアップロードする場合、有効化します。
モーションエリアを設定していない場合は、**[Motion Setup (モーション設定)]** をクリックします。
60ページの「Alarm: Motion (アラーム:モーション)」を参照してください。

注意:設定した送信間隔またはモーションが検出された場合に写真がアップロードされます。

[Apply (適用)] をクリックして、**[Upload Photos (写真のアップロード)]** に対する設定を保存します。

- **[Upload Video (ビデオのアップロード)]**:モーションが検出された時、カメラからビデオをアップロードする場合は、有効化し、**[Setup (設定)]** をクリックします。



チャンネル:Dropboxにアップロードするビデオのチャンネルを選択します。日付/時刻スロットに緑色のマークが付いている場合、これは、指定された日/時間の間にモーションが検出され、Dropboxにビデオがアップロードされたことを意味します。

注意:

- ビデオをアップロードする一つのチャンネルのみを選択することができます。
- 1時間の間に、システムは最大3件の映像をアップロードします。
- アップロードされる映像の最大の期間は10秒間です。

[Apply (適用)] をクリックして、[Upload Video (ビデオアップロード)] に対する設定を保存します。

すべての設定が完了した後、[Apply (適用)] をクリックし、その後、[Activate Cloud (クラウドの有効化)] をクリックします。クラウドストレージ有効化メールを正常に受信した場合、詳細メール設定を行う必要はありません。

ヒント:画面の下の接続状態を参照します。例えば、正常接続の通知:

NVRDropboxファイルアップロード

注意:クラウドストレージアカウントが変更されるたび、またはHDDがフォーマットされるたび、変更を認識するためにクラウドを再度有効化する必要があります。

詳細メール設定を行う必要がある場合は、[Advanced E-mail Setup (詳細メール設定)] ボタンをクリックします。



- **[Email (Eメール)]**: 詳細メール設定を有効化します。
- **[SSL]**: メールサーバーがSSL証明を必要とする場合、有効化します。不明な場合は、メールサービスプロバイダに相談してください。例えば、Gmailを使用している場合、このオプションを有効化する必要があります。
- **[SMTP Port (SMTPポート)]**: メールサーバーのSMTPポートを入力します。例えば、Gmailを使用している場合、SMTPポートは465です。
- **[SMTP Server (SMTPサーバー)]**: メールのSMTPサーバーアドレスを入力します。
- **[Sender (送信者)]**: メールアドレスを入力します。このメールアドレスは、DropboxへのNVRの接続の受入れを確認するための有効化メールを送信するためにのみNVRによって使用されます。
- **[Sender Password (送信者パスワード)]**: メールのパスワードを入力します。

すべての設定を完了後、**[Apply (適用)]** をクリックします。設定をテストする場合、**[Email Test (メールテスト)]** をクリックします。

System: General (システム: 全般)

このメニューでは、システムの全般設定を行います。



- **[Date/Time (日付/時間)]**: 手動で日付と時刻を設定する、または、NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使って、NVR に自動的に更新を許可することができます。手動で変更する場合は、日付/時刻ボックスをクリックし、オンスクリーンキーボードを経由して、現在の日付と時刻を入力します。
- **[Date Format (日付フォーマット)]**: 日付の形式を定義します。例えば、デフォルトのMM/DD/YYを維持し、今日が2013年11月19日である場合、映像上に日付は11/19/2013として表示されます。
- **[Time Format (時間フォーマット)]**: 時刻の形式を定義します。例えば、デフォルトの24時間制を維持、現在時刻が午後5:29:54である場合、映像上に時刻は17:29:54として表示されます。
- **[Language (言語)]**: NVR上のメニュー、アラートおよび他の通信の言語です。
- **[Flicker (ちらつき)]**: 地理的な位置に応じて、50 Hzまたは60 Hzを選択します。例えば、米国ではちらつきは60 Hzに設定する必要があります。50 Hzに設定すると、カメラからのライブ映像がちらつきます。
- **[Menu Timeouts (メニュー時間アウト)]**: メニューが使用されない場合、NVRがメニューを終了し、ライブ映像表示画面に戻るまでの時間を定義します。
- **[Show Wizard (ウィザードの表示)]**: デバイスをONに切り替えるたびに開始ウィザードを表示する場合、このオプションにチェックを入れます。通常、初めてNVRを起動する際、ウィザードで一部またはすべての項目を設定します。

System: DST (システム:DST)

夏時間が開始および終了する際、NVRの時計を自動的に更新する場合、これらのパラメーターを設定します。



- **DST**: 夏時間を表します。お住まいの国でDSTが採用されているかどうかを確認してください。一般的に春の開始頃に時計を1時間進め、秋に元に戻すように調整します。NTP (ネットワークタイムプロトコル) を使って、インターネットを介して、NVRにリモートタイムサーバーとの同期を許可している場合、一部のNTPサーバーは完全にDSTに準拠していないことに注意してください。
- **[Time Offset (時間オフセット)]**: DST中に変更される時間数を選択します。
- **[Daylight Saving Time (夏時間)]**: 1週間または1日おける夏時間を設定します。
- **[Start Time/End Time (開始時間/終了時間)]**: 夏時間の開始時刻および終了時刻を設定します。

System: NTP (システム:NTP)

NVRの時計を自動的にインターネットのタイムサーバーに同期させる場合、これらのパラメーターを設定します。



- **NTP**: ネットワークタイムプロトコルを表します。この機能を有効化して、NVRをインターネットを介してリモートタイムサーバーを使って日付および時刻パラメーターに同期させます。
- **[Server Address (サーバーアドレス)]**: ご希望のオンラインタイムサーバーを選択します。使用可能なタイムサーバーは、pool.ntp.org、time.windows.com、および、time.nist.govです。
- **[Time Zone (タイムゾーン)]**: お使いになる場所のタイムゾーン。
- **[Update Now (今すぐ更新)]**: **[Update Now (今すぐ更新)]** をクリックして、インターネット上のリモートタイムサーバーを使って、NVR上で設定される時間を自動的に同期します。

System: Users (システム:ユーザー)

ユーザーメニューは、NVRを用いてパスワード変更、ユーザー権限の付与、およびアクセス権の設定が可能です。1つの管理者アカウントと6つのユーザーアカウントがあります。デフォルトでは、管理者アカウントのユーザー名は「admin」で、パスワードは「123456」です。あなたのプライバシーを保護するため、パスワードを変更することをお勧めします。



ユーザーを無効化/有効化、パスワードを有効化/無効化する、または、パスワードを変更するには、最初にユーザーを選択し、その後、[Edit (編集)] をクリックします。ユーザー編集メニューが開きます。



[Save (保存)] をクリックして変更を保存する、または、[Default (デフォルト)] をクリックして工場出荷時デフォルト値を復元します。[Cancel (キャンセル)] をクリックして、メインユーザー設定画面に戻ります。

ユーザーアクセス権限を変更するには、最初にユーザーを選択し、その後、[Permissions (権限)] をクリックします。ユーザー権限メニューが開きます。



MARSホームNVRコンボキット:NVRの操作

ユーザーに対するアクセス権限を選択し、[Save (保存)] をクリックします。ユーザーに対してすべての権限を適用するには、[All (すべて)] をクリックし、その後、[Save (保存)] をクリックします。変更を廃棄するには、[Clear (クリア)] をクリックします。[Cancel (キャンセル)] をクリックして保存せずに終了します。

注意: デフォルト管理アカウントのアクセス権限を変更することはできません。

System: Info (システム:情報)

このメニューで、NVRに関連するすべての儀通情報を確認することができます。



注意: NVRのQRコードをスキャンする必要があり、デバイスの上部のコードの付いたステッカーが損傷している場合、または、手が届かない場合、ここで、デバイスのQRコードを見つけることができます。

System: Channel Info (システム:チャンネル情報)

このメニューで、エイリアス、状態、録画ストリーム/リモートストリームパラメーター、モーション録画、プライバシーゾーン、および、PTZサポートなどのチャンネルの基本情報を確認することができます。



注意:これらのパラメーターを修正する場合は、対応するメニューを参照してください。

Advanced: Maintain (詳細:維持)



- **[Auto Login (自動ログイン)]:** 起動後にライブ映像表示のためにNVRに自動的にログインする場合、自動ログイン用に管理者ユーザーアカウントのみを設定することができます。
- **[Auto Reboot (自動リブート)]:** 設定を[Enable (有効)] に設定することで、NVRを指定したスケジュールに自動的に再起動することができます。NVRが再起動すると、すべての設定とデータがメモリから更新されることで、NVRのパフォーマンスを最適化します。この機能を無効にするには、設定を[Disable (無効)] に設定します。
- **[Reboot (リブート)]:** NVRを1週間に1度再起動することが推奨されることに注意してください。システムは3つのタイプの自動保守スケジュールをサポートします。オプションは
 - a. **[Every week (毎週)]:** NVRを週1回再起動します。リブートにおいて、[Every week (毎週)] を選択し、デバイスを再起動する曜日と時刻を指定します。



- b. **[Every month (毎月)]:** NVRを月1回再起動します。リブートにおいて、[Every month (毎月)] を選択し、デバイスを再起動する日付 (1~31) と時刻を指定します。



- c. **[Every day (毎日)]**: NVRを毎日1回再起動します。リブートにおいて、**[Every day (毎日)]** を選択し、デバイスを再起動する時刻を指定します。



注意: 使用可能なフィールドは、選択した**[Reboot (リブート)]** オプションによって異なります。

- **[Update (アップデート)]**: このオプションを利用して、NVRのファームウェアを最新版にアップデートすることができます。ファームウェアのアップグレードファイルを取得します。ファイルをUSBストレージデバイスに保存し、NVRのUSBポートに接続します。**[Update (アップデート)]** ボタンをクリックし、アップデートファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。

重要: システムアップグレードが進行中は、USBストレージデバイスを取り外したり、NVRの電源をオフにしたりしないでください。

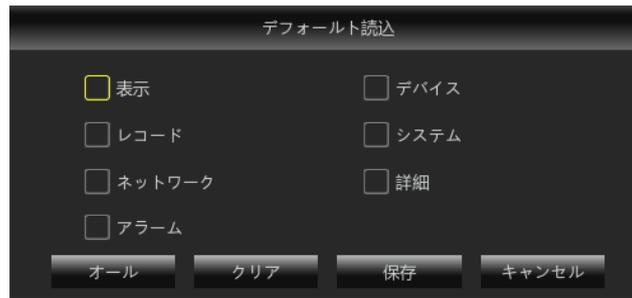


- **[Camera Upgrade (カメラのアップグレード)]**: このオプションを使って、カメラをアップグレードすることができます。カメラのアップグレードファイルを取得します。ファイルをUSBストレージデバイスに保存し、NVRのUSBポートに接続します。**[Camera Upgrade (カメラのアップグレード)]** ボタンをクリックし、アップグレードファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。

重要: システムアップグレードが進行中は、USBストレージデバイスを取り外したり、NVRの電源をオフにしたりしないでください。



- **[Load Default (デフォルト読み込み)]**: 工場出荷時デフォルト設定を取得する場合は、**[Load Default (デフォルト読み込み)]** をクリックします。



復元する設定オプションボックスにチェックを入れ、**[Save (保存)]** をクリックします。すべてのオプションを選択する場合は、**[All (すべて)]** をクリックし、その後、**[Save (保存)]** をクリックします。変更を廃棄するには、**[Clear (クリア)]** をクリックします。設定を保存せずに詳細メニューに戻るには、**[Cancel (キャンセル)]** をクリックします。

注意:ファームウェアのアップグレード後は、すべてのオプションに対するデフォルト読み込みを推奨します。工場出荷時デフォルト設定を取得後は、NVRのすべての現在の設定は削除されることに注意してください。

- **[Load Settings (設定読込)]:**このオプションを選択し、**[Save Settings (設定保存)]** 機能を使って、以前に保存した設定をインポートします。

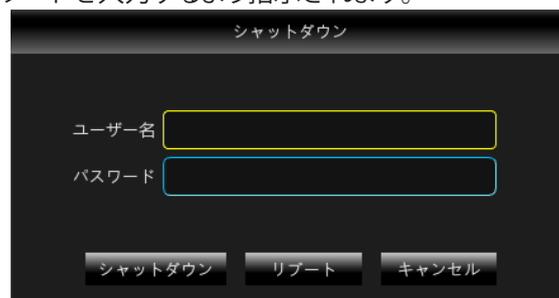
NVR上のシステム設定ファイルを使って、USBストレージデバイスをNVRに接続します。**[Load Settings (設定読込)]** ボタンをクリックします。ファイルを選択し、**[OK]** をクリックします。

重要:システム設定を更新中は、USBストレージデバイスを取り外したり、NVRの電源をオフにしたりしないでください。



手順が完了するまで待機します。

- **[Save Settings (保存設定)]:**このオプションを選択して、ビデオ録画設定、ネットワーク設定などをUSBデバイスに保存するなどのNVRの現在の設定を保存します。
- **[Shutdown (シャットダウン)]:****[Shutdown (シャットダウン)]** をクリックして、NVRを再起動またはシャットダウンします。ユーザー名とパスワードを入力するよう指示されます。



[Shutdown (シャットダウン)] をクリックして、システムをシャットダウンします。**[Reboot (リブート)]** をクリックして、システムを再起動します。

- **[Online Upgrade (オンラインアップグレード)]:****[Online Upgrade (オンラインアップグレード)]** をクリックして、インターネットを介して直接システムをアップグレードします。

Advanced: Events (詳細: イベント)



このメニューにおいて、イベント発生時にNVRがどのアクションを行うかを設定することができます。これにより、HDDに関する状況を監視し、NVRがカメラからのビデオを内部HDDに録画できない場合、または、カメラに対する接続が失われた場合のハプニングを防止します。

- **[Event Type (イベントタイプ)]**: 設定するイベントタイプを**[Disk Full (ディスクフル)]**、**[Disk Error (ディスクエラー)]** または **[Video Loss (ビデオロス)]** から選択します。
- **[Enable (有効)]**: クリックして、イベントの監視を有効化します。
- **[Show Message (ショーメッセージ)]**: ボックスをチェックすると、アラームがトリガーされた時、画面上にメッセージが表示されます。
- **[Send Email (メールの送信)]**: アラームが発生した時、NVRの自動メールを送信させることができます。メールスケジュールを設定するには、56ページの「**Network: Email (ネットワーク: メール)**」を参照してください。
- **[Buzzer (ブザー)]**: ディスクが一杯になった時、ディスクがエラー状態にある場合、または、カメラに対する接続を喪失した場合のブザー音を設定することができます。ブザー音に対する使用可能な時間は、10秒から60秒です。例えば、ディスクフルイベントがトリガーされた場合、ブザーは、10秒間なり続けます(上のスナップショットを参照してください)。ブザーをイベントに関連付けない場合は、ドロップダウンメニューからオフを選択してください。

Webクライアントを経由するリモートアクセス

Webクライアントを使って、PCを経由してNVRにリモートでいつでもアクセスすることができます。Webクライアントにアクセスする前に、NVRのネットワーク設定が適切に設定されていることを確認する必要があります。最も便利で簡単な方法は、NVRに固定IPアドレスを設定することです (54ページの「[Type(タイプ)]:使用しているネットワークタイプを選択します。」を参照)。これは、PC上でWebブラウザを開き、NVR上で設定した固定IPアドレスを入力する必要があることを意味します。しかし、NVRのIPアドレスがDHCPサーバーにより割り当てられる場合 (54ページの「[Type(タイプ)]:使用しているネットワークタイプを選択します。」を参照)、NVRが再起動するたびに、IPアドレスが変わることを意味します。この場合、ISPに固定IPアドレス提供できるかどうかを確認してください。提供されない場合は、DDNSサービスを設定してください。53ページの「Network: Network (ネットワーク:ネットワーク)」および57ページの「Network: DDNS (ネットワーク:DDNS)」のネットワーク設定を参照してください。また、NVRとルーター上でUPnPが設定されていることを確認してください。あるいは、ルーターがUPnPをサポートしていない場合は、ポート転送を手動で完了していることを確認してください。<http://portforward.com/kguard>でカスタマイズされた無料ガイドを参照してください。

Logging In (ログイン)

PCからリモートでNVRにアクセスするには、コンピュータのWebブラウザを開き、URLボックスにNVR上で設定したNVRの固定IPアドレスまたはDDNSドメイン名 (ホスト名) を入力します。



ユーザーログインページが開きます。

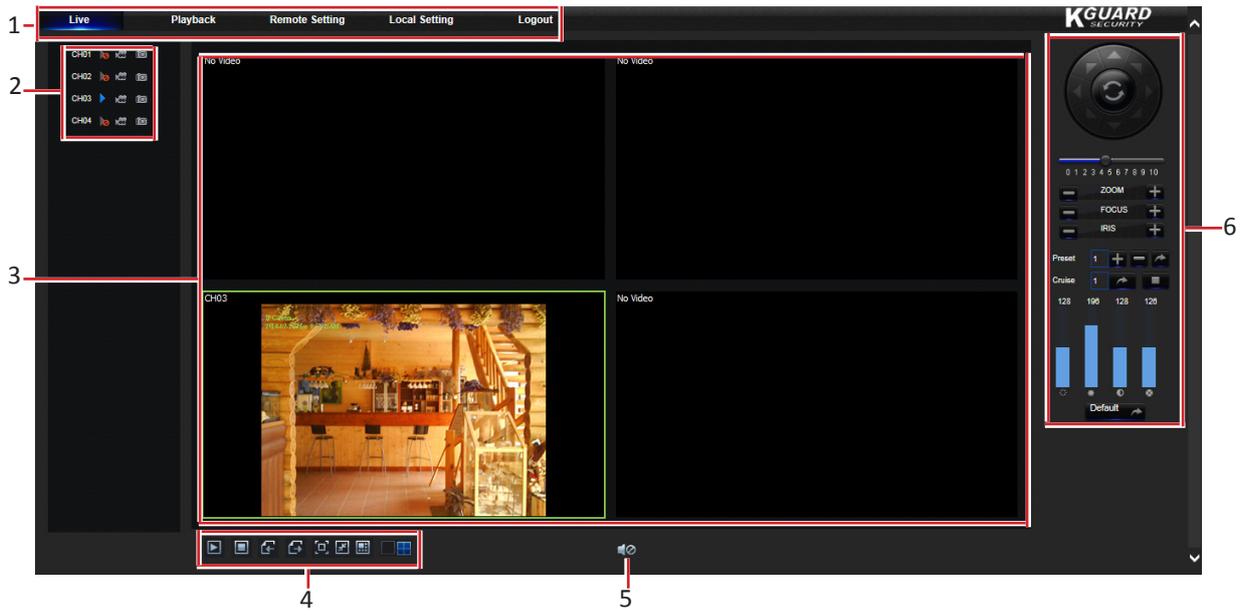
ユーザー名とパスワードを入力します。[Login (ログイン)] ボタンをクリックします。

注意:

- デフォルトのNVRユーザー名は、「admin」、そして、デフォルトパスワードは、「123456」です。
- クライアントポート番号は、NVR上に設定されたクライアントポートと厳密に一致する必要があります。53ページの「Network: Network (ネットワーク:ネットワーク)」をご参照ください。
- 自動的にログインする場合は、[Remember Pwd (パスワード記憶)] をクリックします。

インターフェイス概要

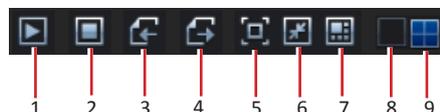
Webクライアントにログイン後、ライブ映像画面が表示されます。



番号	項目	説明
1	メインメニュー	メニュー項目をクリックしてアクセスします。オプションは <ul style="list-style-type: none"> ● ライブ: ライブ映像画面。手動録画およびスナップショットを表示する場合。 ● 再生: NVRの内部のHDD上に保存された録画されたビデオを検索、再生およびダウンロードすることができます。 ● リモート設定: リモートでNVRを設定することが可能です。 ● ローカル設定: 録画済みビデオ、キャプチャーしたスクリーンショット、およびダウンロード済みビデオを保存するローカルディスクドライブの場所を指定することが可能です。 ● ログアウト: クリックして、Webクライアントからログアウトします。
2	チャンネルコントロール	NVRに接続できるチャンネルをすべてリストします。 各チャンネルのアイコンは、チャンネルの管理に使用します。
3	ディスプレイ画面	グリッドモードまたはフルスクリーンモードでチャンネルを表示します。
4	ディスプレイコントロール	ライブ映像表示、画面モードの切替を制御します。
5	音声	音声をOFFまたはONにします。 注意 : オーディオ機能は、ICB-100カメラを用いる場合のみ利用可能です。
6	[PTZ Controls (PTZコントロール)] (MARSホームNVRではサポートされません)	PTZスピードドームを管理します。 注意 : PTZコントロールメニューは、この機能サポートするカメラに対してのみ有効になります。

ライブ映像表示

ライブ映像画面から、ディスプレイコントロールを使用してチャンネルの開閉、および画面モード間の切り替えを行います。

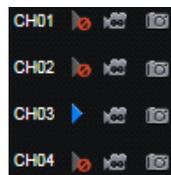


番号	ボタン		説明
1	全チャンネルを開く		クリックすると、全チャンネルが開いて表示します。
2	全チャンネルを閉じる		クリックすると、全チャンネルが閉じます。
3	前へ		クリックすると前のチャンネルを表示します。
4	次へ		クリックすると次のチャンネルを表示します。
5	全画面		クリックしてチャンネルを全画面表示にします。
6	ストレッチ		クリックすると画面が拡大します。もう一度クリックすると元の比率に戻ります。
7	画面表示/非表示モード		クリックして画面モードのアイコンを表示または非表示にします。
8	フルスクリーンモード		クリックしてチャンネルを全画面表示にします。
9	4分割画面モード		クリックしてチャンネルを4分割画面モードにします。

表示と録画

ライブ映像表示から、チャンネルディスプレイの表示または非表示の選択、手動録画の開始、およびチャンネルのスクリーンショットのキャプチャーが行えます。

個々のチャンネルを管理するにはチャンネルコントロールを使用します。また、同時に全チャンネルを管理するにはディスプレイコントロールを使用します。



チャンネルを表示または非表示にする

チャンネルの隣にある表示  アイコンをクリックして、チャンネルディスプレイを表示または非表示にします。表示アイコンは、現在の状態を示します。

-  :チャンネルは画面上に表示されます。
-  :チャンネルは画面上に表示されません。

注意:  アイコンは、カメラが接続されていない、または、カメラに対する接続が失われたことを示しています。

チャンネルの手動録画

チャンネルの隣にある録画  ボタンをクリックして手動録画を開始または停止します。録画アイコンは、現在の状態を示します。

-  :チャンネルは録画中です。
-  :チャンネルは録画中ではありません。

録画したビデオはローカルディレクトリのパスに保存されます。79ページの「ローカル設定」を参照してください。

スナップショットを撮る

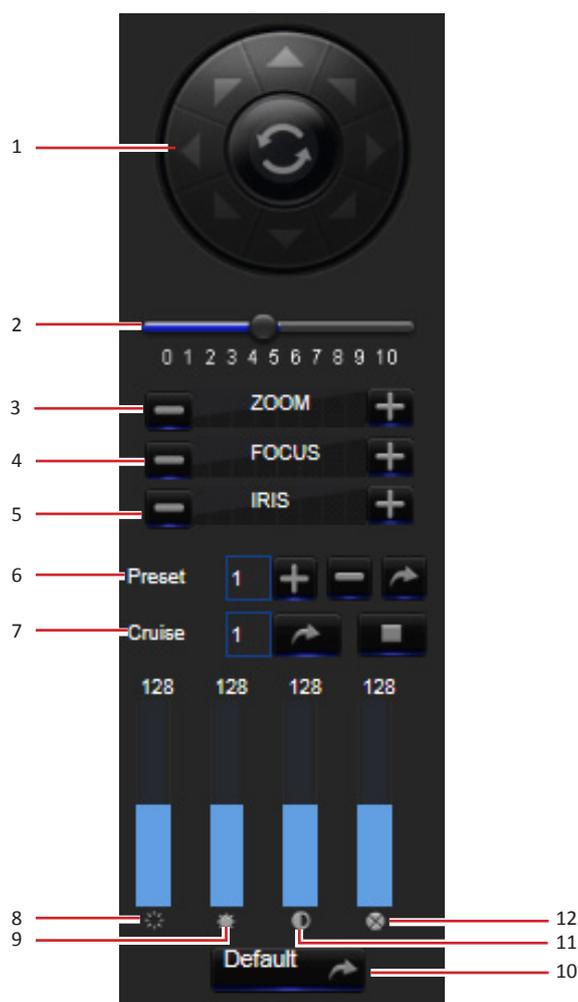
チャンネルコントロール上のスナップショット  アイコンをクリックして、現在の画面のスナップショットを撮ります。スナップショットはローカルディレクトリのパスに保存されます。79ページの「ローカル設定」をご参照ください。

スナップショットを撮ると、スナップショットの保存場所を示すメッセージが画面上に表示されます。



PTZコントロールの使用 (MARSホームNVRではサポートされません)

PTZスピードドームカメラをお使いの場合は、PTZコントロールを用いてその他のPTZ設定で表示範囲を調整します。



番号	項目	説明
1	ポインターパン	方向矢印をクリックしてPTZカメラの方向を選択します。 中央のアイコンをクリックすると、自動パンに切り替わります。
2	スピード	スライダーをドラッグしてスピードを調整します。
3	ズーム	「-」または「+」アイコンをクリックしてズーム設定を調整します。
4	フォーカス	「-」または「+」アイコンをクリックしてフォーカス設定を調整します。
5	絞り	「-」または「+」アイコンをクリックして絞り設定を調整します。
6	プリセット	プリセットポイントをセットしてから、 をクリックしてプリセットポイントに移動します。
7	クルーズ	をクリックしてクルーズを開始します。 をクリックしてクルーズを終了します。
8	色相	バーをクリックして色相設定を調整します。
9	輝度	バーをクリックして輝度設定を調整します。
10	コントラスト	バーをクリックしてコントラスト設定を調整します。
11	彩度	バーをクリックして彩度設定を調整します。
12	デフォルト	デフォルトまたは をクリックしてデフォルトのPTZカメラ設定を復元します。

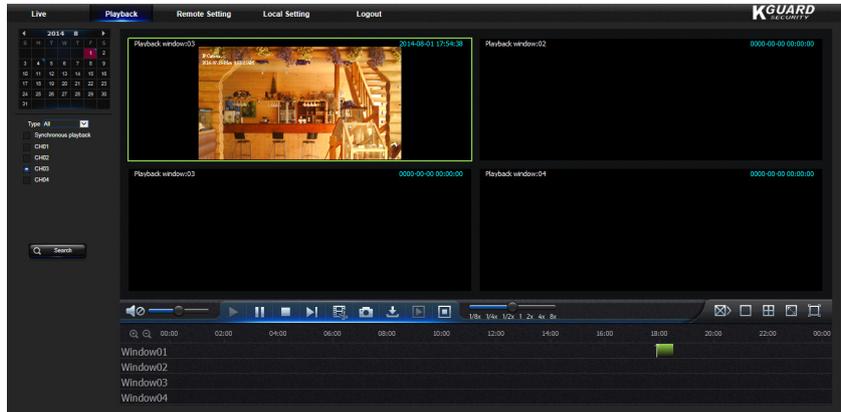
メインメニューについて

Webクライアントのメインメニューの項目は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メインメニューの項目に非常に類似しているので、特定の項目に関する詳細情報については、41ページの「メインメニュー」を参照してください。

- 再生に関する詳細情報については、47ページの「Search: Record Search (検索:録画検索)」を参照してください。

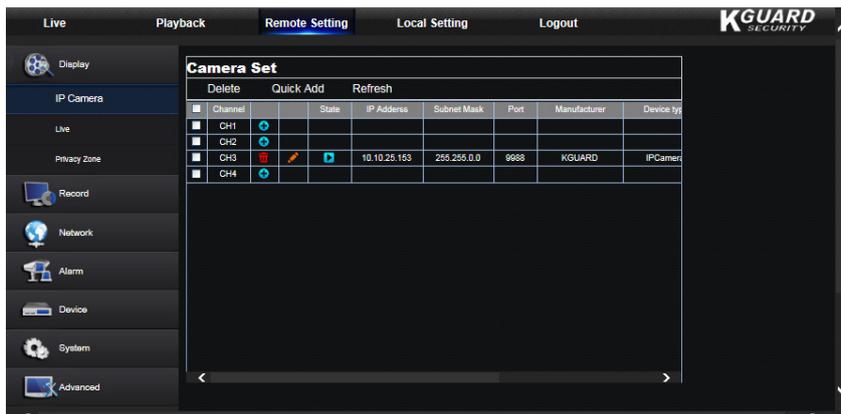
注意: NVR内部のHDD上に保存された録画されたファイルを検索し、結果をPCのローカルディレクトリに保存することができます。ローカルディレクトリのパスを設定するには、79ページの「ローカル設定」を参照してください。

Webクライアント-再生



- リモート設定に関する詳細情報については、41ページの「メインメニュー」を参照してください。

Webクライアント-リモート設定

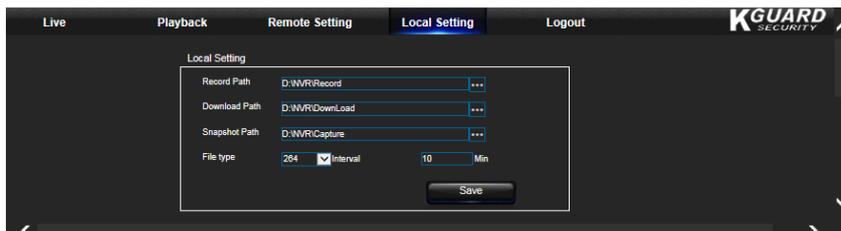


ローカル設定

これ、録画の保存に対するデフォルトパス、ダウンロード、スナップショット、デフォルトファイルタイプを設定することができます。

デフォルトパスおよびファイルタイプを設定するには、Webクライアントインターフェイスのローカル設定をクリックします。

メニューが開きます。...をクリックしてパスを選択します。また、ファイルタイプを.aviまたは264 (H.264形式) から設定し、間隔 (手動録画の長さ) を分単位で設定することができます。ファイルタイプおよび間隔設定は、PC上の手動録画を保存するためのものです。



[Save (保存)] をクリックして変更を保存します。

ログオフ

ログオフする場合は、Webクライアントインターフェイスで、[Logout (ログアウト)] タブをクリックします。



付録

トラブルシューティング

NVRを使用する際になんらかの問題を体験した場合は、サービスに問い合わせる前に以下の共通問題に対する解決法を試みてください。問題が持続する場合は、お近くのカスタマーサービスにお問い合わせください。

質問: NVRの電源がONにならず、インジケーターが点灯していない。

回答:

- 電源アダプター (15V/3A) が正しく接続されていることをご確認ください。
- 電源コードを別のコンセントに接続します。現在のコンセントが損傷している恐れがあります。
- 電源コードが損傷している恐れがあります。販売店にお問い合わせの上、新しいものをご購入ください。

質問: 一部のチャンネルにビデオ信号がありません。

回答:

- カメラが正しく接続されているかをご確認ください。
- カメラケーブルが損傷している恐れがあります。新しいものと交換してください。

質問: 管理者パスワードを変更しましたが思い出せません。

回答:

- 工場出荷時の既定パスワードを取得するには、小売業者へ問い合わせるか、または直接 kguardsecurity.com にメールを送信してください。

質問: リモコンが動作しません。

回答:

- リモコンとNVRセンサーを遮るものが何もないことをご確認ください。リモコンを適切な距離をあけて向けてください。
- リモコンの電池をご確認ください。

質問: NVRをDropboxアカウントまたはGoogleドライブに接続できません。

回答:

DropboxおよびGoogleドライブ:

- NVRにハードドライブをインストールしていること (7ページの「ステップ2: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール」を参照) およびハードドライブがフォーマット済であること (62ページの「Device: HDD (デバイス: HDD)」を参照) を確認してください。
- NVRがインターネットにアクセスし (WANポートが接続されている)、NVR上のネットワーク設定が完了していることを確認してください。53ページの「Network: Network (ネットワーク: ネットワーク)」をご参照ください。
- クラウドストレージ機能が有効であることを確認してください。32ページの「クラウドストレージの使用」をご参照ください。
- NVRを再起動してください。71ページの「Advanced: Maintain (詳細: 維持)」をご参照ください。
- 写真および/またはビデオ送信機能を有効にしていることを確認してください。
- 写真および/またはビデオをアップロードするチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。

Dropbox:

- NVRの有効化メールに3分以内に応答したことを確認してください。それ以上の時間が経過した場合は、NVRのメインメニューの [Activate Cloud (クラウド有効化)] ボタンをクリックして、有効化メールを再送信してください。32ページの「クラウドストレージの使用」をご参照ください。
- [Receiver Email (受信者のメール)] が正しいことを確認してください。32ページの「クラウドストレージの使用」をご参照ください。
- 詳細メール設定を行った場合、SMTPサーバーの名称、ポート、SSL条件が正しく設定され、送信者メールアドレスとパスワードが正しく入力されていることを確認してください。32ページの「クラウドストレージの使用」をご参照ください。

Googleドライブ:

- 正しいGmailアカウントとパスワードを入力していることを確認してください。

質問:メールアラートが多すぎます。

回答:

- メールアラートの送信間隔設定を確認してください。56ページの「[Network: Email \(ネットワーク:メール\)](#)」をご参照ください。
- NVRがビデオロスまたはHDDエラーなどのエラーを報告し続ける場合は、カメラが正しく接続されていること、また、他のハードウェア設定を確認してください。

質問:Webクライアントにアクセスできません。

回答:

- ネットワークケーブルがNVRに正しく接続されているかをご確認ください。
- UPnP機能がルーターおよびNVRで有効化されていること、または、ルーターがUPnPをサポートしていない場合、ポート転送が完了していることを確認してください。
- ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。53ページの「[Network: Network \(ネットワーク:ネットワーク\)](#)」をご参照ください。
- Internet Explorer 8以上があることをご確認ください。

質問:ブザーが鳴り続けています。

回答:

- アラーム設定をご確認ください。モーション感知またはビデオロスが検出される可能性があります。HDD容量とビデオ接続をご確認ください。これらがアラームの契機となっている可能性があります。

仕様

NVR	MH-410
クラウド	
クラウドストレージ	Dropbox / Google Drive
保存モード	スケジュール / モーション検出
ビデオ	
ビデオ入力	4 x LANポート
ビデオ出力	1 x VGAおよび1 x HDMI出力
ビデオ出力解像度	1024x768、1280x1024、1440x900、1280x720、1920x1080
音声	
オーディオ圧縮	G.711
オーディオ出力	HDMIモニター/TVを通して
録画中	
ビデオ圧縮	H.264
録画解像度	4 x 30fps @ 720p
録画モード:	手動/常時録画 / スケジュール / モーション検出 / リモート録画
HDDインターフェイス	1 SATA
HDDサポート	最大4TB
ネットワーク	
KViewで簡単に接続	イエス、KView QR
ネットワークインターフェイス	1 x WANポート
ネットワークプロトコル	DHCP、PPPoE、固定IP
ブラウザサポート	IE 8.0以上およびSafari
再生	
ローカル再生	4 x 30fps @ 720p
リモート再生	ブラウザを経由して、4チャンネル同時
再生検索	時刻および日付、モーション感知
再生モード	再生、早送り、巻き戻し、ズーム、レーム毎
全般	
IRエクステンダーポート	無
センサー入力およびアラーム出力ポート	無
トリガーイベント	録画、メール、ブザー、全画面、メッセージ表示
バックアップ方法	USBフラッシュドライブ、USB HDD、ネットワーク
消費電力 (HDDを含む)	45W
電源	DC 15V / 4A
PoC上でのカメラの電源供給	対応 (最大60メートル)
動作温度 (HDDなし)	0° ~ 55°C (32°F ~ 131°F)
動作湿度	10%~90%
ドッキングスタンドを含む寸法 (奥行 x 幅 x 高さ)	193 x 90 x 208 mm

カメラ	ICB-100 x 2 PCS	ICB-200 x 2 PCS
イメージセンサー	1/3インチメガピクセルCMOSセンサー (IRカットフィルタ付)	
最大解像度	1280(H) x 720(V)	
レンズ	3.6mm固定、F1.2	6mm固定、F1.2
視野角	75°	45°
暗視能力	20メートル	30メートル
音声	あり	無
電源ソケット	あり	
最小照明	赤外線LED ON時「0」ルクス	
昼間/夜間モード	昼間時のカラー/夜間は白黒に切り替え	
電子シャッター	1/3~1/10,000 (秒)	
耐水性	IP66	
動作温度	-10 °C ~ 60 °C (14 °F ~ 140 °F)	
電源	12 VDC ± 10%、PoC	
寸法	150x63x61mm	
重量	420g	

- 1.商標は各社の所有物です。
- 2.仕様は予告なく変更されることがあります。



Copyright © 2014
All rights reserved

カスタマーサポート

KGUARD INFORMATION CO., LTD.
所在地: 4F, No.113, Jian 2nd Road,
Jhonghe District, New Taipei City 23585, Taiwan
TEL: +886-2-8228-6080
FAX: +886-2-8221-6857
Eメール: support@kguardsecurity.com

米国技術サポート問い合わせ先
TEL: 1-866-978-4888
Eメール: usservice@kguardsecurity.com